

平成 30 年度

京都山城総合医療センター 臨床研修プログラム

|             |              |
|-------------|--------------|
| (基幹型臨床研修病院) | 京都山城総合医療センター |
| (協力型臨床研修病院) | 宇治おうばく病院     |
| (協力型臨床研修施設) | 介護老人保健施設やましろ |

## ① 研修の理念、目的

### 当院の基本理念

地域の中核病院として、信頼される良質な医療を提供し、住民の健康維持・推進に貢献する。

### 当院の基本方針

- ・地域の急性期病院として、住民の要望を踏まえた高度な地域医療を提供する。
- ・地域がん診療病院、災害拠点病院、周産期医療2次病院としての機能を充実させる。
- ・地域の他の医療機関や福祉・介護施設との連携を推進する。
- ・快適な療養環境をつくり、患者中心の医療を提供できるよう努める。
- ・教育・研修を通じて必要な人材を育成し、医療水準の向上を目指す。
- ・医療安全管理の徹底をはかり、安心して医療を受けられる施設となるよう努める。
- ・ワーク・ライフ・バランスを考慮した、働きがいのある職場環境づくりに努める。
- ・公益性を求め、健全な経営基盤を確立する。

当院での初期臨床研修は、上記の当院の基本理念、基本方針に沿い、バランスのとれた広い視野を持つ有能な臨床医を養成する事とおして、地域・社会に貢献する事を目的とする。

## ② 当該研修プログラムの特色

- 当院は京都府南部の中核となる公的病院で、幅広い疾患の患者を受け入れており、プライマリ・ケアにおいて、偏りのない多彩な症例が経験できるとともに、各専門分野では、質の高い医療を学べる。
- 救急医療については、年間12,000件程度の救急を受け入れており、各科および多職種連携のもと、1次～3次の多彩な救急症例が経験できる。
- 選択必修科目・選択科目については、研修医が自らのキャリアパスを主体的に考える中で、当院の診療科の中から自由に選択・変更できるように、月単位で意見を聞きながら柔軟に対応する。
- 将来の専門科にかかわらず、運動器疾患、外傷への理解と適切な対応が必要である。日本が高齢化社会を迎えるにあたり、そのニーズがますます高まるとされることから、整形外科を必修科目（2か月）としている。
- 地域医療においては、当院では、訪問看護分野について理解を深め、併設の介護老人保健施設「やましろ」においては、講義及び実務研修により、介護・看護・リハビリテーションを学ぶ。

当院の行っている近隣山間部診療所支援に同伴し、視察研修を行う。また、地域包括ケア会議等に参加し、地域における課題を理解する。

●優れた表現能力、研究能力を有する医師を養成するため、学会、研究会への積極的な参加を促し、少なくとも年に1回以上の学会発表を行うよう指導する。

### ③ 臨床研修の目標（厚労省の定めた到達目標に準拠）

#### 【行動目標】

#### 医療人として必要な基本姿勢・態度

##### 1. 患者－医師関係

患者を全人的に理解し、患者・家族と良好な人間関係を確立するために、

- 1) 患者、家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握できる。
- 2) 医師、患者・家族がともに納得できる医療を行うためのインフォームド・コンセントが実施できる。
- 3) 守秘義務を果たし、プライバシーへの配慮ができる。

##### 2. チーム医療

医療チームの構成員としての役割を理解し、保健・医療・福祉の幅広い職種からなる他のメンバーと協調するために、

- 1) 指導医や専門医に適切なタイミングでコンサルテーションができる。
- 2) 上級及び同僚医師や他の医療従事者と適切なコミュニケーションがとれる。
- 3) 同僚及び後輩へ教育的配慮ができる。
- 4) 患者の転入・転出に当たり、情報を交換できる。
- 5) 関係機関や諸団体の担当者とコミュニケーションがとれる。

##### 3. 問題対応能力

患者の問題を把握し、問題対応型の思考を行い、生涯にわたる自己学習の習慣を身に付けるために、

- 1) 臨床上の疑問点を解決するための情報を収集して評価し、当該患者への適応を判断できる（EBM =Evidence Based Medicineの実践ができる）。
- 2) 自己評価及び第三者による評価を踏まえた問題対応能力の改善ができる。
- 3) 臨床研究や治験の意義を理解し、研究や学会活動に関心を持つ。
- 4) 自己管理能力を身に付け、生涯にわたり基本的診療能力の向上に努める。

##### 4. 安全管理

患者及び医療従事者にとって安全な医療を遂行し、安全管理の方策を身に付け、危機管理に参画するために、

- 1) 医療を行う際の安全確認の考え方を理解し、実施できる。
- 2) 医療事故防止及び事故後の対処について、マニュアルなどに沿って行動できる。
- 3) 院内感染対策（Standard Precautionsを含む。）を理解し、実施できる。

- 4) 医薬品や医療用具による健康被害の発生防止について理解し、適切に行動できる。
5. 症例呈示
- チーム医療の実践と自己の臨床能力向上に不可欠な、症例呈示と意見交換を行うために、
- 1) 症例呈示と討論ができる。
  - 2) 臨床症例に関するカンファレンスや学術集会に参加する。
6. 医療の社会性
- 医療の持つ社会的側面の重要性を理解し、社会に貢献するために、
- 1) 保健医療法規・制度を理解し、適切に行動できる。
  - 2) 医療保険、公費負担医療を理解し、適切に診療できる。
  - 3) 医の倫理、生命倫理について理解し、適切に行動できる。

## 【経験目標】

### I 経験すべき診察法・検査・手技

#### 1. 医療面接

患者・家族との信頼関係を構築し、診断・治療に必要な情報が得られるような医療面接を実施するために、

- 1) 医療面接におけるコミュニケーションの持つ意義を理解し、コミュニケーションスキルを身に付け、患者の解釈モデル・受診動機・受療行動を把握できる。
- 2) 患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活・職業歴、系統的レビュー）の聴取と記録ができる。
- 3) 患者・家族への適切な指示、指導ができる。

#### 2. 基本的な身体診察法

病態の正確な把握ができるよう、全身にわたる身体診察を系統的に実施し、記載するために、

- 1) 全身の観察（バイタルサインと精神状態の把握、皮膚や表在リンパ節の診察を含む）ができ、記載できる。
- 2) 頭頸部の診察（眼瞼・結膜、眼底、外耳道、鼻腔口腔、咽頭の観察、甲状腺の触診を含む）ができ、記載できる。
- 3) 胸部の診察（乳房の診察を含む）ができ、記載できる。
- 4) 腹部の診察（直腸診を含む）ができ、記載できる。
- 5) 泌尿・生殖器の診察（産婦人科的診察を含む）ができ、記載できる。
- 6) 骨・関節・筋肉系の診察ができ、記載できる。
- 7) 神経学的診察ができ、記載できる。
- 8) 小児の診察（生理的所見と病的所見の鑑別を含む）ができ、記載できる。
- 9) 精神面の診察ができ、記載できる。

### 3. 基本的な臨床検査

病態と臨床経過を把握し、医療面接と身体診察から得られた情報をもとに必要な検査を、

A・・・自ら実施し、結果を解釈できる。

その他・・・検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる。

- 1) 一般尿検査(尿沈渣顕微鏡検査を含む)
- 2) 便検査(潜血、虫卵)
- 3) 血算・白血球分画
- A 4) 血液型判定・交差適合試験
- A 5) 心電図(12誘導)、負荷心電図
- A 6) 動脈血ガス分析
- 7) 血液生化学的検査
  - ・簡易検査(血糖、電解質、尿素窒素など)
- 8) 血液免疫血清学的検査(免疫細胞検査、アレルギー検査を含む)
- 9) 細菌学的検査・薬剤感受性検査
  - ・検体の採取(痰、尿、血液など)
  - ・簡単な細菌学的検査(グラム染色など)
- 10) 呼吸機能検査
  - ・スパイロメトリー
- 11) 髄液検査
- 12) 細胞診・病理組織検査
- 13) 内視鏡検査
- A 14) 超音波検査
- 15) 単純X線検査
- 16) 造影X線検査
- 17) X線CT検査
- 18) MRI検査
- 19) 各医学検査
- 20) 神経生理学的検査(脳波・筋電図など)

必修項目 下線の検査について経験があること

「経験」とは受け持ち患者の検査として診療に活用すること

Aの検査で自ら実施する部分については、受け持ち症例でなくてもよい

### 4. 基本的手技

基本的手技の適応を決定し、実施するために、

- 1) 気道確保を実施できる。
- 2) 人工呼吸を実施できる。(バッグ・バルブ・マスクによる徒手換気を含む)

- 3) 胸骨圧迫を実施できる。
- 4) 圧迫止血法を実施できる。
- 5) 包帯法を実施できる。
- 6) 注射法（皮内、皮下、筋肉、点滴、静脈確保、中心静脈確保）を実施できる。
- 7) 採血法（静脈血、動脈血）を実施できる。
- 8) 穿刺法（腰椎）を実施できる。
- 9) 穿刺法（胸腔、腹腔）を実施できる。
- 10) 導尿法を実施できる。
- 11) ドレーン・チューブ類の管理ができる。
- 12) 胃管の挿入と管理ができる。
- 13) 局所麻酔法を実施できる。
- 14) 創部消毒とガーゼ交換を実施できる。
- 15) 簡単な切開・排膿を実施できる。
- 16) 皮膚縫合法を実施できる。
- 17) 軽度の外傷・熱傷の処置を実施できる。
- 18) 気管挿管を実施できる。
- 19) 除細動を実施できる。

必修項目下線の手技を自ら行った経験があること

## 5. 基本的治療法

基本的治療法の適応を決定し、適切に実施するために、

- 1) 療養指導（安静度、体位、食事、入浴、排泄、環境整備を含む）ができる。
- 2) 薬物の作用、副作用、相互作用について理解し、薬物治療（抗菌薬、副腎皮質ステロイド薬、解熱薬、麻薬、血液製剤を含む）ができる。
- 3) 基本的な輸液ができる。
- 4) 輸血（成分輸血を含む）による効果と副作用について理解し、輸血が実施できる。

## 6. 医療記録

チーム医療や法規との関連で重要な医療記録を適切に作成し、管理するために、

- 1) 診療録（退院時サマリーを含む）をPOS（Problem Oriented System）に従って記載し管理できる。
- 2) 処方箋、指示箋を作成し、管理できる。
- 3) 診断書、死亡診断書、死体検案書その他の証明書を作成し、管理できる。
- 4) CPC（臨床病理検討会）レポートを作成し、症例呈示できる。
- 5) 紹介状と、紹介状への返信を作成でき、それを管理できる。

## 7. 診療計画

保健・医療・福祉の各側面に配慮しつつ、診療計画を作成し、評価するために、

- 1) 診療計画（診断、治療、患者・家族への説明を含む）を作成できる。
- 2) 診療ガイドラインやクリティカルパスを理解し活用できる。
- 3) 入退院の適応を判断できる（デイサージャリー症例を含む）。
- 4) QOL (Quality of Life) を考慮にいたった総合的な管理計画（リハビリテーション、社会復帰、在宅医療、介護を含む）へ参画する。

### 必修項目

- 1) 診療録の作成
- 2) 処方箋・指示書の作成
- 3) 診断書の作成
- 4) 死亡診断書の作成
- 5) CPCレポート（※）の作成、症例呈示
- 6) 紹介状、返信の作成

上記1)～6)を自ら行った経験があること

（※CPCレポートとは、剖検報告のこと）

## II 経験すべき症状・病態・疾患

研修の最大の目的は、患者の呈する症状と身体所見、簡単な検査所見に基づいた鑑別診断、初期治療を的確に行う能力を獲得することにある。

### 1. 頻度の高い症状

|      |                     |
|------|---------------------|
| 必修項目 | 下線の症状を経験し、レポートを提出する |
|------|---------------------|

\*「経験」とは、自ら診療し、鑑別診断を行うこと

- 1) 全身倦怠感
- 2) 不眠
- 3) 食欲不振
- 4) 体重減少、体重増加
- 5) 浮腫
- 6) リンパ節腫脹
- 7) 発疹
- 8) 黄疸
- 9) 発熱
- 10) 頭痛
- 11) めまい
- 12) 失神

- 13) けいれん発作
- 14) 視力障害、視野狭窄
- 15) 結膜の充血
- 16) 聴覚障害
- 17) 鼻出血
- 18) 嘔声
- 19) 胸痛
- 20) 動悸
- 21) 呼吸困難
- 22) 咳・痰
- 23) 嘔気・嘔吐
- 24) 胸やけ
- 25) 嚥下困難
- 26) 腹痛
- 27) 便通異常(下痢、便秘)
- 28) 腰痛
- 29) 関節痛
- 30) 歩行障害
- 31) 四肢のしびれ
- 32) 血尿
- 33) 排尿障害(尿失禁・排尿困難)
- 34) 尿量異常
- 35) 不安・抑うつ

## 2. 緊急を要する症状・病態

|      |              |
|------|--------------|
| 必修項目 | 下線の病態を経験すること |
|------|--------------|

\* 「経験」とは、初期治療に参加すること

- 1) 心肺停止
- 2) ショック
- 3) 意識障害
- 4) 脳血管障害
- 5) 急性呼吸不全
- 6) 急性心不全
- 7) 急性冠症候群
- 8) 急性腹症
- 9) 急性消化管出血

- 10) 急性腎不全
- 11) 流・早産及び満期産
- 12) 急性感染症
- 13) 外傷
- 14) 急性中毒
- 15) 誤飲、誤嚥
- 16) 熱傷
- 17) 精神科領域の救急

### 3. 経験が求められる疾患・病態

#### 必修項目

1. A疾患については入院患者を受け持ち、診断、検査、治療方針について症例レポートを提出すること
2. B疾患については、外来診療又は受け持ち入院患者（合併症含む）で自ら経験すること
3. 外科症例（手術を含む）を1例以上受け持ち、診断、検査、術後管理等について症例レポートを提出すること

※全疾患（88項目）のうち70%以上を経験することが望ましい

#### 1) 血液・造血器・リンパ網内系疾患

B [1] 貧血（鉄欠乏性貧血、二次性貧血）

[2] 白血病

[3] 悪性リンパ腫

[4] 出血傾向・紫斑病（播種性血管内凝固症候群：DIC）

#### 2) 神経系疾患

A [1] 脳・脊髄血管障害（脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血）

[2] 認知症疾患

[3] 脳・脊髄外傷（頭部外傷、急性硬膜外・硬膜下血腫）

[4] 変性疾患（パーキンソン病）

[5] 脳炎・髄膜炎

#### 3) 皮膚系疾患

B [1] 湿疹・皮膚炎群（接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎）

B [2] 蕁麻疹

[3] 薬疹

B [4] 皮膚感染症

#### 4) 運動器（筋骨格）系疾患

B [1] 骨折

B [2] 関節・靭帯の損傷及び障害

- B [3] 骨粗鬆症
- B [4] 脊柱障害（腰椎椎間板ヘルニア）
  - 5) 循環器系疾患
- A [1] 心不全
- B [2] 狭心症、心筋梗塞
  - [3] 心筋症
- B [4] 不整脈（主要な頻脈性、徐脈性不整脈）
  - [5] 弁膜症（僧帽弁膜症、大動脈弁膜症）
- B [6] 動脈疾患（動脈硬化症、大動脈瘤）
  - [7] 静脈・リンパ管疾患（深部静脈血栓症、下肢静脈瘤、リンパ浮腫）
- A [8] 高血圧症（本態性、二次性高血圧症）
  - 6) 呼吸器系疾患
- B [1] 呼吸不全
- A [2] 呼吸器感染症（急性上気道炎、気管支炎、肺炎）
- B [3] 閉塞性・拘束性肺疾患（気管支喘息、気管支拡張症）
  - [4] 肺循環障害（肺塞栓・肺梗塞）
  - [5] 異常呼吸（過換気症候群）
  - [6] 胸膜、縦隔、横隔膜疾患（自然気胸、胸膜炎）
  - [7] 肺癌
- 7) 消化器系疾患
- A [1] 食道・胃・十二指腸疾患（食道静脈瘤、胃癌、消化性潰瘍、胃・十二指腸炎）
- B [2] 小腸・大腸疾患（イレウス、急性虫垂炎、痔核・痔瘻）
  - [3] 胆嚢・胆管疾患（胆石症、胆嚢炎、胆管炎）
- B [4] 肝疾患（ウイルス性肝炎、急性・慢性肝炎、肝硬変、肝癌、アルコール性肝障害、薬物性肝障害）
  - [5] 膵臓疾患（急性・慢性膵炎）
- B [6] 横隔膜・腹壁・腹膜（腹膜炎、急性腹症、ヘルニア）
  - 8) 腎・尿路系（体液・電解質バランスを含む）疾患
- A [1] 腎不全（急性・慢性腎不全、透析）
  - [2] 原発性糸球体疾患（急性・慢性糸球体腎炎症候群、ネフローゼ症候群）
  - [3] 全身性疾患による腎障害（糖尿病性腎症）
- B [4] 泌尿器科的腎・尿路疾患（尿路結石症、尿路感染症）
  - 9) 妊娠分娩と生殖器疾患
- B [1] 妊娠分娩（正常妊娠、流産、早産、正常分娩、産科出血、乳腺炎、産褥）
  - [2] 女性生殖器及びその関連疾患（月経異常（無月経を含む）、不正性器出血、更年期障害、外陰・膣・骨盤内感染症、骨盤内腫瘍、乳腺腫瘍）

- B [3] 男性生殖器疾患（前立腺疾患、勃起障害、精巣腫瘍）
  - 10) 内分泌・栄養・代謝系疾患
    - [1] 視床下部・下垂体疾患（下垂体機能障害）
    - [2] 甲状腺疾患（甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症）
    - [3] 副腎不全
  - A [4] 糖代謝異常（糖尿病、糖尿病の合併症、低血糖）
  - B [5] 高脂血症
    - [6] 蛋白及び核酸代謝異常（高尿酸血症）
  - 11) 眼・視覚系疾患
    - B [1] 屈折異常（近視、遠視、乱視）
    - B [2] 角結膜炎
    - B [3] 白内障
    - B [4] 緑内障
      - [5] 糖尿病、高血圧・動脈硬化による眼底変化
  - 12) 耳鼻・咽喉・口腔系疾患
    - B [1] 中耳炎
      - [2] 急性・慢性副鼻腔炎
    - B [3] アレルギー性鼻炎
      - [4] 扁桃の急性・慢性炎症性疾患
      - [5] 外耳道・鼻腔・咽頭・喉頭・食道の代表的な異物
- 13) 精神・神経系疾患
  - [1] 症状精神病
  - A [2] 認知症（血管性認知症を含む）
    - [3] アルコール依存症
  - A [4] 気分障害（うつ病、躁うつ病を含む）
  - A [5] 統合失調症
    - [6] 不安障害（パニック障害）
  - B [7] 身体表現性障害、ストレス関連障害
    - 14) 感染症
      - B [1] ウイルス感染症（インフルエンザ、麻疹、風疹、水痘、ヘルペス、流行性耳下腺炎）
      - B [2] 細菌感染症（ブドウ球菌、MRSA、A群レンサ球菌、クラミジア）
      - B [3] 結核
        - [4] 真菌感染症（カンジダ症）
        - [5] 性感染症
        - [6] 寄生虫疾患

15) 免疫・アレルギー疾患

[1]全身性エリテマトーデスとその合併症

B [2]関節リウマチ

B [3]アレルギー疾患

16) 物理・化学的因子による疾患

[1]中毒（アルコール、薬物）

[2]アナフィラキシー

[3]環境要因による疾患（熱中症、寒冷による障害）

B [4]熱傷

17) 小児疾患

B [1]小児けいれん性疾患

B [2]小児ウイルス感染症（麻疹、流行性耳下腺炎、水痘、突発性発疹、インフルエンザ）

[3]小児細菌感染症

B [4]小児喘息

[5]先天性心疾患

18) 加齢と老化

B [1]高齢者の栄養摂取障害

B [2]老年症候群（誤嚥、転倒、失禁、褥瘡）

### Ⅲ特定の医療現場の経験

必修項目にある現場の経験とは、各現場における到達目標の項目のうち一つ以上経験すること。

#### 1. 救急医療

生命や機能的予後に係わる、緊急を要する病態や疾病、外傷に対して適切な対応をするために、

1) バイタルサインの把握ができる。

2) 重症度及び緊急度の把握ができる。

3) ショックの診断と治療ができる。

4) 二次救命処置（ACLS = Advanced Cardiovascular Life Support、呼吸・循環管理を含む）ができ、一次救命処置（BLS = Basic Life Support）を指導できる。

※ACLSは、バッグ・バルブ・マスク等を使う心肺蘇生法や除細動、気管挿管、薬剤投与等の一定のガイドラインに基づく救命処置を含み、BLSには、気道確保、胸骨圧迫、人工呼吸等機器を使用しない処置が含まれる。

5) 頻度の高い救急疾患の初期治療ができる。

6) 専門医への適切なコンサルテーションができる。

7) 大災害時の救急医療体制を理解し、自己の役割を把握できる。

|      |                |
|------|----------------|
| 必修項目 | 救急医療の現場を経験すること |
|------|----------------|

## 2. 予防医療

予防医療の理念を理解し、地域や臨床の場での実践に参画するために、

- 1) 食事・運動・休養・飲酒・禁煙指導とストレスマネジメントができる。
- 2) 性感染症予防、家族計画を指導できる。
- 3) 地域・産業・学校保健事業に参画できる。
- 4) 予防接種を実施できる。

必修項目 予防医療の現場を経験すること

## 3. 地域医療

地域医療を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応するために、

- 1) 患者が営む日常生活や居住する地域の特性に即した医療（在宅医療を含む）について理解し、実践する。
- 2) 診療所の役割（病診連携への理解を含む）について理解し、実践する。
- 3) へき地・離島医療について理解し、実践する。

必修項目 へき地・離島診療所、中小病院・診療所等の地域医療の現場を経験すること

## 4. 周産・小児・成育医療

周産・小児・成育医療を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応するために、

- 1) 周産期や小児の各発達段階に応じて適切な医療が提供できる。
- 2) 周産期や小児の各発達段階に応じて心理社会的側面への配慮ができる。
- 3) 虐待について説明できる。
- 4) 学校、家庭、職場環境に配慮し、地域との連携に参画できる。
- 5) 母子健康手帳を理解し活用できる。

必修項目 周産・小児・成育医療の現場を経験すること

## 5. 精神保健・医療

精神保健・医療を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応するために、

- 1) 精神症状の捉え方の基本を身につける。
- 2) 精神疾患に対する初期的対応と治療の実際を学ぶ。
- 3) デイケアなどの社会復帰や地域支援体制を理解する。

必修項目 精神保健福祉センター、精神科病院等の精神保健・医療の現場を経験すること

## 6. 緩和ケア、終末期医療

緩和ケアや終末期医療を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応するために、

- 1) 心理社会的側面への配慮ができる。
- 2) 治療の初期段階から基本的な緩和ケア（WHO方式がん疼痛治療法を含む）ができる。

- 3) 告知をめぐる諸問題への配慮ができる。
- 4) 死生観・宗教観などへの配慮ができる。

|      |                |
|------|----------------|
| 必修項目 | 臨終の立ち会いを経験すること |
|------|----------------|

7. 地域保健

地域保健を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応するために、保健所、介護老人保健施設、社会福祉施設、赤十字社血液センター、各種検診・健診の実施施設等の地域保健の現場において、

- 1) 保健所の役割（地域保健・健康増進への理解を含む）について理解し、実践する。
- 2) 社会福祉施設等の役割について理解し、実践する。

④ プログラム責任者の氏名

石原 潔（京都山城総合医療センター副院長兼放射線科部長）

⑤ 臨床研修を行う分野並びに当該分野ごとの臨床研修病院又は臨床研修協力施設、研修期間、責任者と役職名

| ○必修科目   | (必ず研修する必要のある科目)              |       |      | 責任者              | 役職名 |
|---------|------------------------------|-------|------|------------------|-----|
| 内科      | 京都山城総合医療センター                 | 6か月   | 新井正弘 | 副院長兼<br>消化器内科部長  |     |
| 救急部門    | 京都山城総合医療センター                 | 3か月   | 岩本芳浩 | 救急部長兼<br>脳神経外科部長 |     |
| 地域医療    | 介護老健保健施設やましろ                 | 0.8か月 | 赤坂裕三 | 施設長              |     |
|         | 京都山城総合医療センター                 | 0.2か月 | 岩本一秀 | 副院長              |     |
| ○病院必修科目 |                              |       |      |                  |     |
| 整形外科    | 京都山城総合医療センター                 | 2か月   | 吉田宗彦 | 整形外科部長           |     |
| ○選択必修科目 | (下記の5科目のうちから必ず2科目以上を選択する)    |       |      |                  |     |
| 外科      | 京都山城総合医療センター                 | 2か月   | 中田雅支 | 外科部長             |     |
| 麻酔科     | 京都山城総合医療センター                 | 2か月   | 松本裕則 | 麻酔科部長            |     |
| 小児科     | 京都山城総合医療センター                 | 2か月   | 内藤岳史 | 小児科部長            |     |
| 産婦人科    | 京都山城総合医療センター                 | 1か月   | 澤田重成 | 産婦人科部長           |     |
| 精神科     | 宇治おうばく病院                     | 0.5か月 | 竹田明子 | 精神科医長            |     |
| ○選択科目   | (下記の科目を自由に選択し、合計で8か月～10.5か月) |       |      |                  |     |
| 消化器内科   | 京都山城総合医療センター                 |       | 新井正弘 | 副院長兼             |     |

|         |              |       |                  |
|---------|--------------|-------|------------------|
| 循環器内科   | 京都山城総合医療センター | 富安貴一郎 | 循環器内科部長          |
| 腎臓内科    | 京都山城総合医療センター | 中谷公彦  | 腎臓内科部長           |
| 神経内科    | 京都山城総合医療センター | 岩本一秀  | 副院長兼<br>神経内科部長   |
| 生活習慣病内科 | 京都山城総合医療センター | 堤丈士   | 内科医長             |
| リウマチ科   | 京都山城総合医療センター | 村上憲   | リウマチ科医長          |
| 放射線科    | 京都山城総合医療センター | 石原潔   | 副院長兼<br>放射線科部長   |
| 消化器外科   | 京都山城総合医療センター | 中田雅支  | 外科部長             |
| 呼吸器外科   | 京都山城総合医療センター | 伊藤和弘  | 呼吸器外科部長          |
| 小児外科    | 京都山城総合医療センター | 佐々木康成 | 小児外科部長           |
| 脳神経外科   | 京都山城総合医療センター | 岩本芳浩  | 救急部長兼<br>脳神経外科部長 |
| 整形外科    | 京都山城総合医療センター | 吉田宗彦  | 整形外科部長           |
| 泌尿器科    | 京都山城総合医療センター | 松原弘樹  | 泌尿器科部長           |

#### 研修ローテーション例

第1年次 オリエンテーション：1週間

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月  | 11月 | 12月 | 1月   | 2月 | 3月 |
|----|----|----|----|----|----|------|-----|-----|------|----|----|
| 内科 |    |    |    |    |    | 救急部門 |     |     | 選択科目 |    |    |

第2年次

| 4月       | 5月          | 6月   | 7月 | 8月 | 9月 | 10月  | 11月 | 12月  | 1月 | 2月 | 3月 |
|----------|-------------|------|----|----|----|------|-----|------|----|----|----|
| 地域<br>医療 | 精<br>神<br>科 | 選択科目 |    |    |    | 整形外科 |     | 選択科目 |    |    |    |

#### ⑥ 研修医の指導体制と評価

(1) 研修中は、指導医（臨床経験7年以上の常勤医師で厚労省の認めた臨床研修指導医講習会を受講した医師）、および指導医の指導監督のもと、上級医（研修医よりも臨床経験の長い医師をいう。）からも指導を受ける。

(2) 「臨床研修の到達目標における到達状況確認表」を用いて、研修医が項目ごとに経験した日付を記入し、指導医の確認を受ける。指導医、プログラム責任者は、修了基準

に不足している部分を補い、研修期間内に臨床研修を修了する。

(3) 「臨床研修到達目標における必修レポート確認表」にあるレポート（CPC、指定症状、指定症例、外科症例）を提出し、指導医の確認を受ける。

(4) 各科ローテーションごとに「研修医評価表」に、研修医が自己評価を記入。その後、指導医が研修医の評価を行う。

(5) 上記につき、臨床研修委員会で審査し、到達目標達成を確認する。

## ⑦ プログラム責任者の役割

プログラム責任者は、臨床研修の基本理念を踏まえて、円滑かつ効果的な臨床研修を推進するために、研修医に対する助言・指導を行うとともに、指導医に対する支援を行う。また、研修プログラムの実施を適切に管理し、調整、評価を行う。

## ⑧ 指導医の役割

指導医は、臨床研修の基本理念を踏まえて、研修プログラムに基づき直接研修医に対する指導を行うとともに、研修医の診療行為をチェックする。また、上級医が研修医に対する指導を行った場合であっても、それを監督する。

「臨床研修の到達目標における到達状況確認表」、「臨床研修到達目標における必修レポート確認表」を用いて、到達状況、必修レポートの確認を行うとともに、「研修医評価表」を用いて研修医を評価し、プログラム責任者に報告する。

## ⑨ 研修医の募集定員ならびに募集および採用の方法

(1) 研修医の定員数 1年次 2名 2年次 2名

(2) 募集・採用方法 厚生労働省主導による組み合わせ決定（マッチング）による一般公募を行い、面接及び小論文にて選考する。

## ⑩ 研修医の処遇

(1) 身分等 非常勤職員

(2) 給与／賞与 一年次 基本手当／月 300,000円

賞与／年 522,750円

二年次 基本手当／月 300,000円

賞与／年 780,000円

(3) 手当 通勤手当、住居手当、宿日直手当等支給あり

(4) 勤務時間等 勤務日数、勤務時間、休憩時間は正規職員に準ずる

(5) 休暇 有給休暇（一年次 20日、二年次 20日）

その他、リフレッシュ休暇・病気休暇・忌引休暇等あり

(6) 宿舍 単身用宿舍あり

- |               |                                  |         |
|---------------|----------------------------------|---------|
|               | 自己負担額（光熱費込み）                     | 10,000円 |
| (7) 社会保険・労働保険 | 社会保険、厚生年金、労働者災害補償保険法、雇用保険の適用あり   |         |
| (8) 健康管理      | 健康診断および予防接種を実施                   |         |
| (9) 医師賠償責任保険  | 病院を被保険者とした賠償責任保険に加入する<br>個人加入は任意 |         |
| (10) 外部研修活動   | 学会、研修会等への参加可能<br>参加費用の支給あり       |         |
| (11) 研修終了後    | 研修終了後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能         |         |

# 各科臨床研修プログラム

## 必修科目

### 〈内科〉

#### 1) 目的と特徴

- ① 日常診療に於いて、頻繁に遭遇する症候や疾病に適切な対応が行えるよう基本的診療能力（態度、知識、技能）を身につける。
- ② 期間は臨床研修1年目に6ヶ月とし、コモンディジーズを主とする疾患、プライマリ・ケアにおける必須事項を研修する。
- ③ 6ヶ月の研修のうち、消化器内科2か月、循環器内科2か月を必修とし、残り2か月は、神経内科、腎臓内科、リウマチ科、生活習慣病科から選択とする。
- ④ 内科カンファレンス、消化器カンファレンス、循環器カンファレンスなどのカンファレンスをとおして、症例提示能力、討論の能力を磨く。
- ⑤ 学術集会への参加や発表をとおして、学術的な知識の獲得や臨床能力の向上を目指す。

#### 2) 責任指導医と研修施設

##### ① 責任指導医

新井 正弘（京都山城総合医療センター副院長兼消化器内科部長）

##### ② 研修施設

京都山城総合医療センター

#### 3) 研修目標

一般目標：コモンディジーズについて適切に対応できる基本的診察法を身につける。「患者の病を診る」のではなく「病を持った人を診る」ことを理解して、患者・家族の社会的背景や心情を踏まえた診療ができる能力を修得する。

##### 行動目標

- ① 医の倫理・患者の人権・患者-医師関係を理解し、患者・家族の心理的・社会的側面に配慮し、適切な説明・指導ができる。
- ② 副作用報告・臨床研究・診療ガイドライン・医療における費用対効果・医薬品の適正治療を理解できる。
- ③ 安全性の確保・医療上の事故の対処と予防を理解する。
- ④ 基本的身体診察法を実施できる。
- ⑤ 主要症候を理解する。

- ⑥ 各種検査の適応を理解し、結果の解釈ができる。
- ⑦ 基本的治療手技を理解し、施行・管理できる。
- ⑧ 輸液・輸血を理解し、実施できる。
- ⑨ 薬物療法の基本を理解し、薬物療法を施行できる。
- ⑩ 医療チームの一員として参加できる。
- ⑪ 診療録・診断書・紹介状などの各種書類の適切な記載ができる。

#### 4) 方略

##### ①研修方法

担当患者を受け持ち、指導医と相談しながら適切な病歴聴取・身体診察を行い、ガイドラインなどを利用しながら、適切な検査・治療を選択する。6カ月の研修のうち、消化器内科2か月、循環器内科2か月を必修とし、残り2か月は、神経内科・腎臓内科・リウマチ科・生活習慣病科からの選択とする。

##### ③ 科分野週間スケジュール

|    | AM       |        | PM      |  |
|----|----------|--------|---------|--|
|    | 8:30～    | 13:00～ | 17:30～  |  |
| 月曜 | 外来、病棟、検査 | 病棟、検査  |         |  |
| 火曜 | 外来、病棟、検査 | 病棟、検査  | カンファレンス |  |
| 水曜 | 外来、病棟、検査 | 病棟、検査  |         |  |
| 木曜 | 外来、病棟、検査 | 病棟、検査  |         |  |
| 金曜 | 外来、病棟、検査 | 病棟、検査  | カンファレンス |  |

#### 5) 評価

「研修医評価表」に研修医が自己評価を記入し、その後、指導医の評価をうける。

# ＜救急部門＞

## 1) 目的と特徴

- ①救急の場に於いて頻繁に遭遇する症候や疾病に適切な対応が行えるよう基本的診療能力（態度、知識、技能）を身につける。
- ②救急医療については、年間12,000件程度の救急を受け入れており、各科および多職種連携のもと、1次～3次の多彩な救急症例が経験できる。
- ③プライマリ・ケアから、緊急を要する病態や疾病、外傷に対する適切な診断・初期治療の能力を修得する。
- ④プライマリ・ケア、救急対応については、2年間の研修期間中、当直時間帯でも経験し、研修する。
- ⑤地域中核病院として救急患者を積極的に受け入れており、各診療科の指導医、上級医とともにコモンディーズから高度医療の必要な疾患まで幅広い救急診療を経験できる。

## 2) 責任指導医と研修施設

### ① 責任指導医

岩本 芳浩（京都山城総合医療センター救急部長兼脳神経外科部長）

### ② 研修施設

京都山城総合医療センター

## 3) 研修目標

一般目標：救急医療・集中治療の実際でプライマリ・ケアを行い、生命や機能的予後に係る、緊急を要する病態や疾病・外傷に対して適切な対応を行うための必須の知識と技能を身に付ける。

### 行動目標

- ① 救急患者の病態を的確に把握できる。
- ② 救急患者の重症度・緊急度を的確に判断し、処置および検査の優先順位を決定できる。
- ③ モニタリングの意義を理解し実施できる。
- ④ 心肺停止を診断できる。
- ⑤ 心肺脳蘇生法の意義を理解し、二次救命処置を実施でき、一次救命処置を指導できる。
- ⑥ 各種ショックの病態を理解し、診断と治療ができる。
- ⑦ 頻度の高い救急疾患の初期治療を施行できる。
- ⑧ 外傷・熱傷・骨折の病態を理解し、初期治療に協力できる。
- ⑨ 急性中毒の初療を実施できる。
- ⑩ 専門医への適切なコンサルテーションができる。

① 病院前救護を含む救急医療システムを理解し、説明できる。

4) 方略

①研修方法

救急搬送された患者について、指導医と相談しながら適切な病歴聴取、身体診察を行い、ガイドラインなどを利用しながら、適切な検査・治療を選択する。

②週間スケジュール

|    | AM   | PM   |
|----|------|------|
| 月曜 | 救急部門 | 救急部門 |
| 火曜 | 救急部門 | 救急部門 |
| 水曜 | 救急部門 | 救急部門 |
| 木曜 | 救急部門 | 救急部門 |
| 金曜 | 救急部門 | 救急部門 |

5) 評価

「研修医評価表」に研修医が自己評価を記入し、その後、指導医の評価をうける。

# < 地域医療 >

## 1) 目的と特徴

- ①介護老人保健施設やましろは、京都山城総合医療センターと経営母体を同じくする老健施設であり、病院と家庭の中間に位置する役割を持った施設である。病院のように病気治療を目的とするものではなく、介護・看護・リハビリテーションを通じて在宅生活への復帰を支援する施設である。
- ②研修をとおして、介護保険制度、介護老人保健施設、その中における医師の役割を理解する。
- ③医療、保健、福祉のコーディネーターとして社会に貢献できる資質を養うことを目的とする。
- ④京都山城総合医療センターが行っている訪問看護に同行し、在宅医療についての理解を深める。

## 2) 責任指導医と研修施設

### ① 責任指導医

赤坂 裕三 (介護老人保健施設やましろ 施設長)

岩本一秀 (京都山城総合医療センター)

### ② 研修施設

介護老人保健施設やましろ

京都山城総合医療センター

## 3) 研修目標

一般目標：介護老人保健施設の特徴を理解し、利用者に応じて自立した日常生活を営むことができるよう支援し、家庭復帰を目指すための知識と技能を身に付ける。

また、訪問看護の現場を経験する事により、在宅医療の実際について理解を深める。

### 行動目標

- ①介護保険制度の概要を理解する。
- ②介護老人保健施設の概要を理解する。
- ③介護老人保健施設の役割と機能を理解し、利用者が家庭復帰できるように支援する。
- ④チーム医療の中における医師の役割を理解し、実践する。
- ⑤介護老人保健施設におけるリスクマネジメントについて学ぶ。
- ⑥介護老人保健施設の施設内感染防止対策を学ぶ。
- ⑦認知症を有する高齢者の問題点を理解し、その対応について学ぶ。
- ⑧訪問看護に同行し、在宅医療における看護師の役割を学ぶとともに、現場での問題点や医師の役割などについて考察する。

#### 4) 方略

##### ①研修方法

介護老人保健施設やましろの指導医や職員から、介護保険制度や介護老人保健施設についての講義を受けるとともに、実際の介護やリハビリの現場を経験する中で、医師の役割について学ぶ。

京都山城総合医療センターにおいて訪問看護にかかわる会議に出席し、訪問看護に対する理解を深めるとともに、訪問看護に同行し、在宅医療の現場を経験する。

##### ②週間スケジュール

|    | AM    | PM               |
|----|-------|------------------|
| 月曜 | 講義、回診 | カンファレンス、リハビリ実習など |
| 火曜 | 訪問看護  | カンファレンス、リハビリ実習など |
| 水曜 | 講義、回診 | カンファレンス、リハビリ実習など |
| 木曜 | 訪問看護  | カンファレンス、リハビリ実習など |
| 金曜 | 講義、回診 | カンファレンス、リハビリ実習など |

#### 5) 評価

「研修医評価表」に研修医が自己評価を記入し、その後、指導医の評価をうける。

# 病院必修科目

## 〈整形外科〉

### 1) 目的と特徴

臨床研修必修科目を修了した研修医が整形外科医療を研修・実践することにより整形外科基本的診察法、検査、治療法（保存的治療・手術的治療）、基本的手技などを学習し習得することを目的とする。

- ① 骨・関節・筋・脊椎・末梢神経など運動器に特有な病態を理解する。
- ② 運動器疾患特有の診察方法や治療方法を学習・経験する。
- ③ 運動機能障害をもった患者や家族に接し、その心情を理解する機会を得る。
- ④ 看護師、リハビリテーション科療法士など他の医療スタッフと協調しチームでの医療を学習・経験する。

具体的には整形外科外来や救急室での外来診療、病棟回診、手術室での手術実習およびカンファレンスなどを通して上記の目的達成に努める。

### 2) 指導医と研修施設

#### ① 指導医

吉田 宗彦（京都山城総合医療センター 整形外科部長）

#### ② 研修施設

京都山城総合医療センター

### 3) 研修目標

一般目標: 日常の診療、救急の場で遭遇する整形外科疾患の患者に的確に対応できるように、必要とされる基本的診療能力（態度、知識、技能）を身につける。

#### 行動目標

- ① すべての臨床医に求められる基本的な臨床能力（知識、技能、態度、判断力）を習得する。
- ② 緊急を要する疾患や外傷、頻度の高い症状・病態に対する初期診療能力を習得する。
- ③ 患者の有する問題を身体的、精神心理的および社会的側面から全人的に理解し、適切に対処できる能力を習得する。
- ④ 患者および家族との望ましい人間関係を形成する態度を学習する。
- ⑤ チーム医療の原則を理解し、他の医療メンバーと協調できる。
- ⑥ 適切なタイミングで他科専門医や他院専門医へのコンサルテーションや患者紹介ができる。
- ⑦ 診療録やその他の医療記録を適切に作成、保存できる。

- ⑧ 保険診療や医療に関する法令を順守できる。
- ⑨ 適切な自己評価ができ、第三者による評価を受け入れ、診療にフィードバックする態度を身につける。
- ⑩ 生涯における自己研鑽の習慣を身につける。

#### 4) 方略

##### ①研修方法

担当患者を受け持ち、指導医と相談しながら適切な病歴聴取、身体診察を行い、ガイドラインなどを利用しながら、適切な診療を決定していく。

##### ②週間スケジュール

|    | AM       | PM           |
|----|----------|--------------|
| 月曜 | 外来、病棟回診、 | カンファレンス、救急医療 |
| 火曜 | 外来       | 病棟、救急医療      |
| 水曜 | 外来、病棟、手術 | 手術           |
| 木曜 | 外来、救急医療  | 病棟、救急医療      |
| 金曜 | 外来、病棟、手術 | 手術           |

#### 5) 評価

「研修医評価表」に研修医が自己評価を記入し、その後、指導医の評価をうける。

# 選択必修科目

## <外科>

### 1) 目的と特徴

- ① 外科で頻繁に遭遇する症候や疾病に適切な対応が行えるよう基本的診療能力（態度、知識、技能）を身につける。
- ② 期間は2ヶ月間とし、外科における基本的な必須事項を研修する。
- ③ プライマリ・ケアから、緊急を要する病態や疾病、外傷に対する適切な診断・初期治療の能力を修得する。
- ④ 地域中核病院として、外科的処置が必要な救急患者を受け入れており、プライマリ・ケア、重症患者の初期治療、手術までを一貫して経験できる。

### 2) 責任指導医と研修施設

#### ① 責任指導医

中田 雅支 （京都山城総合医療センター 外科部長）

#### ② 研修施設

京都山城総合医療センター

### 3) 研修目標

一般目標：将来の専門性に関わらず、日常診療で頻繁に遭遇する外科系疾患に適切に対応できるよう基本的態度・習慣・技能を習得する。

#### 行動目標

- ① 病歴および理学的所見から得た情報をもとに、必要な検査計画を組み立て、結果を評価する。
- ② 手術前後の管理に必要な処置、手技を理解し、一部介助あるいは実施する。
- ③ 実際の手術を経験し、その適応、術式の決定、術後管理を学び修得する。

### 4) 方略

#### ① 研修方法

外科（消化器外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科）の患者を受け持ち、指導医と相談しながら適切な病歴聴取、身体診察を行い、ガイドラインなどを利用しながら適切な治療法を選択する。

実際に手術に参加し、手技を理解、習得する。

②週間スケジュール

|    | AM       |        | PM      |  |
|----|----------|--------|---------|--|
|    | 8:30～    | 13:00～ | 17:30～  |  |
| 月曜 | 手術、外来、病棟 | 手術、病棟  |         |  |
| 火曜 | 手術、外来、病棟 | 手術、病棟  | カンファレンス |  |
| 水曜 | 手術、外来、病棟 | 手術、病棟  |         |  |
| 木曜 | 手術、外来、病棟 | 手術、病棟  |         |  |
| 金曜 | 手術、外来、病棟 | 手術、病棟  | カンファレンス |  |

5) 評価

「研修医評価表」に研修医が自己評価を記入し、その後、指導医の評価をうける。

# < 麻酔科 >

## 1) 目的と特徴

- ① 研修中、医療人として必要な基本的態度の確立、多職種との協調性を身につける。
- ② 期間は2ヶ月とし、麻酔科の基本的な必須事項を研修する。
- ③ 低リスク患者の麻酔を基本として、麻酔をかける際に必要な基礎的知識と技術を修得する。
- ④ 術前、術中、術後管理に必要な基礎的知識と、技術を身につける。  
手技的なトレーニングも重要であるが、適切な患者の全身状態の評価・安全管理に重きを置いた研修を行う。

## 2) 責任指導医と研修施設

- ① 責任指導医  
松本 裕則 (京都山城総合医療センター 麻酔科部長)
- ② 研修施設  
京都山城総合医療センター

## 3) 研修目標

一般目標：患者、家族とのコミュニケーション、患者の診察、治療を適切に行うために麻酔を行う上で必要な医療人としての基本的診療能力（態度、知識、技能）を身につける。  
守秘義務を果たし、患者・家族の人権・プライバシーへの配慮ができる。

### 行動目標

- ① 麻酔という医療行為の特殊性を学ぶ。
- ② 周術期の患者管理の流れを理解する。
- ③ 手術前・手術中・手術後における麻酔科医の役割を理解する。
- ④ 手術をするために関与する医療スタッフの役割と協力体制を理解する。
- ⑤ 患者カルテの読解、検査データの評価、医療面接・診察を通して、術前患者の全身状態を把握する。
- ⑥ 既往歴・現病歴など麻酔問診表に基づき、麻酔・全身管理に必要な情報を医療面接できる。
- ⑦ 全身にわたる身体診察を系統的に実施できる。
- ⑧ 麻酔に関する患者への適切なインフォームド・コンセントを行うことができる。
- ⑨ 適切な術前処置・投薬の指示や麻酔計画を立案し、指導医に提示し意見交換する。

- ⑩ 手術方法や患者の全身状態により、麻酔方法や全身管理方法が異なることを学ぶ。
- ⑪ 麻酔管理上の問題点把握に基づいた麻酔計画を立て、カンファレンスで症例提示する。
- ⑫ 合併症の少ない患者で、実際の全身麻酔管理を経験する。
- ⑬ 麻酔薬、循環器作動薬など麻酔中に使用する薬剤を適切に使用できる。
- ⑭ 患者監視装置の取り扱い・読解を習熟し、正しいモニタリング技術を身に付ける。
- ⑮ 麻酔器の基本構造を理解し、使用する。
- ⑯ 麻酔導入時の気道確保困難の予測をたてることができる。
- ⑰ マスク換気、人工呼吸、気管挿管技術を身に付ける。
- ⑱ 静脈路確保、動脈ライン挿入、中心静脈ライン挿入などの技術を身に付ける。
- ⑲ 外科系医師とのコミュニケーションや手術室内医療スタッフとの協調性が安全な患者管理に結びつくことを理解する。
- ⑳ 適切な患者情報の伝達が、安全な患者管理に結びつくことを理解する。
- ㉑ 医療事故防止および事故発生後の対応について、マニュアルに沿って適切な行動ができる。
- ㉒ 院内感染対策を理解し実施できる。

#### 4) 方略

##### ① 研修方法

担当患者を受け持ち、指導医と相談しながら適切な病歴聴取、身体診察を行い、ガイドラインなどを利用しながら、適切な診療を決定していく。

##### ② 週間スケジュール

|    | AM             | PM           |
|----|----------------|--------------|
| 月曜 | 術前カンファレンス、手術麻酔 | 手術麻酔、術前・術後回診 |
| 火曜 | 術前カンファレンス、手術麻酔 | 手術麻酔、術前・術後回診 |
| 水曜 | 術前カンファレンス、手術麻酔 | 手術麻酔、術前・術後回診 |
| 木曜 | 術前カンファレンス、手術麻酔 | 手術麻酔、術前・術後回診 |
| 金曜 | 術前カンファレンス、手術麻酔 | 手術麻酔、術前・術後回診 |

#### 5) 評価

「研修医評価表」に研修医が自己評価を記入し、その後、指導医の評価をうける。

# <小児科>

## 1) 目的と特徴

幅広い分野の小児疾患の研修を目標とする。

地域中核公的病院として小児救急輪番も担っており、common diseaseの対応、救急疾患の適切なトリアージ、二次医療を中心とする入院診療を経験できるほか、虐待など社会的要因によるこどもの不利益に対応する際に、今後ますます求められる多職種との連携についても、理解できる機会を提供する。豊富な分娩数があり、正常児のスクリーニング、異常分娩に対する初期対応ができる。

## 2) 責任指導医と研修施設

### ① 責任指導医

内藤 岳史 (京都山城総合医療センター 小児科部長)

### ② 研修施設

京都山城総合医療センター

## 3) 研修目標

一般目標：小児を診療するにあたっての基本的診察能力（知識・態度・技能）を修得する。外来においては問診・診察能力を修得し、common diseaseの初期対応を知る。救急医療では、迅速な病態理解、及びそれに基づく初期対応を目標とする。病棟では、担当医として診断・治療計画を立て、患児とその家族に理解しやすい言葉で説明できることを目標とする。

### 行動目標

- ① 子どもやその家族と信頼関係を築き、適切な情報を収集できる。
- ② 年齢に応じた、適切な手技による、基本的な系統的身体診察ができる。
- ③ 診察所見に基づいて、身体発育・性的発育・神経学的発達等を評価できる。
- ④ 小児の正常発達・成長を理解するとともに、小児疾患の病態生理を述べることができる。
- ⑤ 子どもの状態を把握し、的確にプレゼンテーションできる。
- ⑥ 静脈採血、毛細管採血、皮下注射、静脈路確保等の技能を身につけることができる。
- ⑦ 一般外来において入院適応が理解できる。
- ⑧ 入院症例に対して病歴聴取、診察、を行い、診断・治療計画立案に参加する。
- ⑨ 薬剤投与量、投与方法について小児の特性を学び、実践できる。
- ⑩ 他科医師、コメディカルとのコミュニケーション能力を身につける。
- ⑪ 小児に対する検査、治療の侵襲について理解し、その適応について検討する。
- ⑫ 正常新生児の評価法を理解し、異常分娩に対しては基本的な蘇生処置が講じられる。

⑬ 小児でみられる非医療的問題に対応する社会資源の種類・活用法について理解する。

#### 4) 方略

##### ①研修方法

指導医とともに担当患者を受け持ち、病歴聴取、身体診察を行い、適切な診療を決定していく。

##### ②週間スケジュール

|    | AM    | PM         |
|----|-------|------------|
| 月曜 | 外来/病棟 | 外来/病棟      |
| 火曜 | 外来/病棟 | 外来・カンファレンス |
| 水曜 | 外来/病棟 | 乳児健診       |
| 木曜 | 外来/病棟 | 外来/病棟      |
| 金曜 | 外来/病棟 | 外来/病棟      |

#### 5) 評価

「研修医評価表」に研修医が自己評価を記入し、その後、指導医の評価をうける。

# <産婦人科>

## 1) 目的と特徴

- ①女性特有の疾患による救急医療を研修する。
- ②女性特有のプライマリ・ケアを研修する。
- ③妊産褥婦ならびに新生児の医療に必要な基本的知識を研修する。

## 2) 責任指導医と研修施設

### ① 責任指導医

澤田 重成 (京都山城総合医療センター 産婦人科部長)

### ② 研修施設

京都山城総合医療センター

## 3) 研修目標

一般目標:女性特有の疾患についての理解を深め、日々の診療で遭遇することのある産婦人科患者にも的確に対応できるよう、産婦人科で必要とされる基本的診療能力(態度、知識、技能)を身につける。

行動目標

産科研修目標

### ① 以下の生殖生理学の基本を理解する。

母体の生理、胎児の分化、発育の生理、胎盤の生理、羊水の生理、分娩の生理、産褥の生理

### ②妊娠、分娩、産褥の管理を修得する。

正常分娩の介助ができる。

異常分娩のリスクの程度を判定し、少なくともプライマリ・ケアは行い得る。

会陰切開とその縫合、膣壁会陰裂傷縫合ができる。

異常出血への応急処置ができる。

切迫流産、切迫早産への応急処置や薬物療法ができる。

### ③産科検査を理解し、修得する。

尿検査、経膈超音波による妊娠の診断ができる。

ドップラー心音計により胎児心拍の聴取ができる。

超音波検査により妊娠経過の観察と胎児発育の評価ができる。

分娩監視装置により胎児の状態を評価できる。

### ④ 産科手術の修得

子宮内容除去術ができる。

吸引分娩術ができる。

帝王切開術の介助ができる。

子宮頸管縫縮術の介助ができる。

#### 婦人科研修目標

##### ①婦人の解剖、生理を理解する。

女性生殖器の解剖、生理を理解する。

腹部、骨盤の解剖を理解する。

性ホルモンの種類、作用を理解する。

性感染症の特徴を理解し、各種性感染症の診断・治療を行い得る。

化学療法の基礎的事項を理解している。

穿刺術（Douglas 窩穿刺、腹腔穿刺その他）が指導の下にできる。

##### ②婦人科検査

経膈超音波で子宮・卵巣の大きさ、状態を評価できる。

子宮頸がん、子宮体がんの検査法を理解し、実施できる。

MRI、CTによる婦人科腫瘍の読影ができる。

##### ③ 婦人科手術

腹式子宮全摘術の介助ができる。

膣式子宮全摘術の介助ができる。

付属器摘出術の介助ができる。

腹腔鏡下手術の介助ができる。

#### 4) 方略

##### ①研修方法

主治医として担当患者を受け持ち、指導医による指導の下に病歴聴取や身体診察などを行い、診療ガイドラインに沿った適切な診療を行う。

##### ②週間スケジュール

|    | AM       | PM              |
|----|----------|-----------------|
| 月曜 | 外来・病棟    | 病棟・周産期合同カンファレンス |
| 火曜 | 外来・病棟・手術 | 病棟・手術           |
| 水曜 | 外来・病棟    | 病棟              |
| 木曜 | 外来・病棟    | 病棟              |
| 金曜 | 外来・病棟・手術 | 病棟・手術           |

#### 5) 評価

「研修医評価表」に研修医が自己評価を記入し、その後、指導医の評価をうける。

# <精神科>

## 1) 目的と特徴

当院では、統合失調症、躁うつ病、うつ、ストレス性障害、認知症、内科疾患などを対象に、医療・介護の環境を整え、専門職をそろえ、入院・外来・在宅を切り離さずに、医療・介護・リハビリサービスの提供を行っている。このような環境の中で、精神科における基本的な必須事項を研修する。

## 2) 責任指導医と研修施設

### ① 責任指導医

竹田 明子 (宇治おうばく病院 精神科医長)

### ② 研修施設

宇治おうばく病院

## 3) 研修目標

一般目標: 日常診療で遭遇する精神疾患を有する患者に対し、適切に対応できるよう、精神科で必要とされる基本的診療能力(態度、知識、技能)を身につける。

行動目標

- ① プライマリ・ケアに求められる、精神症状の診断と治療の基礎について学ぶ。
- ② 患者の心理・行動理解のための知識と技術について学ぶ。
- ③ 指導医とともに典型的な症例を担当し、診断、治療について学び、気分障害(うつ病、躁うつ病を含む)、統合失調症について、レポートを作成する。

## 4) 方略

### ① 研修方法

担当患者を受け持ち、指導医と相談しながら適切な病歴聴取、身体診察を行い、ガイドラインなどを利用しながら、適切な診療を決定していく。

### ② 週間スケジュール

|    | AM        | PM |
|----|-----------|----|
| 月曜 | 講義、病棟     | 病棟 |
| 火曜 | 外来        | 病棟 |
| 水曜 | 外来        | 病棟 |
| 木曜 | 精神科リハビリ研修 | 病棟 |
| 金曜 | デイケア研修    | 病棟 |

5) 評価

「研修医評価表」に研修医が自己評価を記入し、その後、指導医の評価を受ける。

# 選択科目

## 〈消化器内科〉

### 1) 目的と特徴

当科は上部消化管（食道、胃、十二指腸）、下部消化管（大腸）、胆膵疾患、肝臓疾患など消化器全般にわたって専門的に診療を行っている。特に内視鏡専門医による内視鏡的治療、放射線科医と協力して腹部血管造影やCTを用いた治療についても積極的に行っている。内科一般の広い基礎を身に着けた後、消化器病学をさらに深く学び、消化器内科における基本的診療能力（態度、知識、技能）を修得する。

### 2) 責任指導医と研修施設

#### ① 責任指導医

新井 正弘（京都山城総合医療センター 副院長兼消化器内科部長）

#### ② 研修施設

京都山城総合医療センター

### 3) 研修目標

一般目標:内科学、消化器病学としての知識と臨床能力を身につけた医師となるために、内科、消化器内科における基本的診療・技術を修得する。

#### 行動目標

- ① 消化器疾患を中心とした基本的身体診察法を実施し、記載できる。
- ② 消化器疾患を中心とした主要症候（食欲不振、悪心と嘔吐、嚥下困難、むねやけ、腹痛、背部痛、腹部膨満、吐血と下血、下痢と便秘、鼓腸、黄疸、腹水）を診察、所見を記載し、その病因を理解する。
- ③ 一般尿検査、便検査を理解する。
- ④ 消化管X線検査・内視鏡検査（食道、胃、十二指腸、小腸、大腸）を理解し、指導医の下で実施する。
- ⑤ 消化器領域のX線CT検査、MRI検査の基本的な読影ができる。
- ⑥ 腹部超音波検査を理解し、指導医の下で施行できる。
- ⑦ 基本的治療手技を理解し、施行・管理できる。
- ⑧ 指導医の下で輸液を理解し、実施できる。
- ⑨ 輸血を理解し、実施できる。
- ⑩ 薬物療法の基本を理解し、消化器の薬物療法（口腔用剤、消化性潰瘍薬、緩下剤、浣腸、

止痢剤、整腸剤、鎮痙剤、鎮痛剤、肝臓薬、利胆剤、消化酵素剤、蛋白分解酵素阻害剤、抗生剤) を施行できる。

#### 4) 方略

##### ①研修方法

担当患者を受け持ち、指導医と相談しながら適切な病歴聴取、身体診察を行い、ガイドラインなどを利用しながら、適切な診療を決定していく。

##### ②週間スケジュール

|    | AM         | PM       |
|----|------------|----------|
| 月曜 | 内視鏡検査      | 病棟       |
| 火曜 | 血管造影検査     | 内視鏡検査、病棟 |
| 水曜 | 超音波検査      | 病棟       |
| 木曜 | 内視鏡検査、X線検査 | 内視鏡検査、病棟 |
| 金曜 | 外来、病棟      | 病棟       |

火曜日17:30から、消化器合同カンファレンス

#### 5) 評価

「研修医評価表」に研修医が自己評価を記入し、その後、指導医の評価をうける。

# <循環器内科>

## 1) 目的と特徴

- ①当科は、地域の中核病院として急性心筋梗塞症例に対して、24時間体制で対応しており、救命率90%以上を維持している。
- ②冠動脈疾患に対する心臓カテーテル治療の他、足壊疽を含めた閉塞性動脈硬化症・腎動脈狭窄症・肺動脈狭窄症に対するカテーテル治療、不整脈疾患に対するカテーテル治療及びペースメーカー治療、心不全に対する非薬物治療なども行っている。
- ③当科での研修により、循環器内科の症候や疾病に適切な対応が行えるよう基本的な診療能力(態度、知識、技能)を身につけることが目的である。

## 2) 責任指導医と研修施設

### ① 責任指導医

富安 貴一郎 (京都山城総合医療センター 循環器内科部長)

### ② 研修施設

京都山城総合医療センター

## 3) 研修目標

一般目標:循環器病の病態生理に基づいた診療を行うために、循環器内科医のみならず医師として必要な基本的診療・技術・態度を修得する。

### 行動目標

- ① 心肺聴診の診察を行い、内科的な身体診察法を実施し、記載する事が出来る。
- ② 浮腫、動悸、胸疼、呼吸困難を自ら診察し鑑別診断する事が出来る。
- ③ 安静時12誘導心電図検査、心臓超音波検査を自ら実施し、結果を解釈できる。
- ④ 運動負荷心電図検査、ホルター心電図検査、心エコー検査、心臓CT検査、心臓MRI検査の適応が判断でき、結果を解釈できる。
- ⑤ 除細動器を適切に使用することが出来る。
- ⑥ 循環器系の薬物療法を理解し、処方することが出来る。
- ⑦ 循環器疾患の診断、治療内容について、患者が理解できるようにわかりやすく説明できる。

## 4) 方略

### ①研修方法

担当患者を受け持ち、指導医と相談しながら適切な病歴聴取、身体診察を行い、ガイドラ

インなどを利用しながら、適切な診療を決定していく。

②週間スケジュール

|    | AM        | PM           |
|----|-----------|--------------|
| 月曜 | 心臓超音波検査など | 心臓カテーテル検査、病棟 |
| 火曜 | 心臓超音波検査など | 病棟           |
| 水曜 | 心臓カテーテル検査 | 心臓カテーテル検査、病棟 |
| 木曜 | 心臓カテーテル検査 | 病棟           |
| 金曜 | 外来・病棟     | 病棟           |

5) 評価

「研修医評価表」に研修医が自己評価を記入し、その後、指導医の評価を受ける。

# ＜腎臓内科＞

## 1) 目的と特徴

腎生検による腎臓病（腎炎など）の病理組織診断と治療、急性腎不全および慢性腎不全の診断と治療、透析用バスキュラーアクセス形成手術、腹膜透析カテーテル挿入手術、維持透析の導入と管理など一貫した腎疾患診療に携わってきている。急性期病院としての急性血液浄化療法はもちろん、総合病院として様々な合併症をもつ慢性腎不全患者の管理も行っている。

## 2) 責任指導医と研修施設

### ① 責任指導医

中谷 公彦（京都山城総合医療センター 腎臓内科部長）

### ② 研修施設

京都山城総合医療センター

## 3) 研修目標

一般目標：腎疾患の診療に必要な基本的知識や技能を習得する。緊急性のある腎疾患に対しての初期対応が出来るようにする。腎機能が低下した患者および透析患者の管理が出来るようにする。

### 行動目標

- ①病歴聴取や理学的所見の技法を習得する。
- ②尿所見や血液検査、エコーやCTなどの画像検査の結果を解釈する。
- ③急性腎不全の鑑別診断を習得し、急性血液浄化療法の適応を検討する。
- ④慢性腎不全の保存療法、維持透析の管理と合併症（血液透析および腹膜透析）の治療についての知識を深め管理ができるようにする。
- ⑤専門的検査や治療として、腎生検の施行および病理組織の診断と治療方針の決定を指導医のもとで実施し理解する。バスキュラーアクセスカテーテル挿入や内シャント増設術などを指導医とともにを行いバスキュラーアクセスの管理を習得する。腹膜透析カテーテル挿入術を指導医とともにを行い腹膜透析カテーテル管理を習得する。各種血液浄化療法を指導医とともに導入し管理する。
- ⑥代表的な腎疾患についての理解を深め、診察できるようにする。

## 4) 方略

### ①研修方法

担当患者を受け持ち、指導医と相談しながら適切な病歴聴取、身体診察を行い、ガイドラインなどを利用しながら適切な診療を決定していく。

②週間スケジュール

|    | AM                | PM                  |
|----|-------------------|---------------------|
| 月曜 | 透析管理、病棟           | 手術、透析管理、病棟          |
| 火曜 | 外来、透析管理、病棟        | 外来、透析管理、病棟          |
| 水曜 | 外来、透析管理、病棟        | 救急部門、腎生検カンファレンス     |
| 木曜 | 外来、透析管理、病棟        | 腹膜透析外来、病棟、透析カンファレンス |
| 金曜 | 透析管理、カンファレンス・病棟回診 | 腎生検、透析管理、病棟         |

5) 評価

「研修医評価表」に研修医が自己評価を記入し、その後、指導医の評価をうける。

# ＜神経内科＞

## 1) 目的と特徴

臨床医として神経学的疾患の知識と基本的な神経学的診察能力を身につけておくことが望ましい。

病歴聴取の技術、神経学的所見の診察手技を修得し、診断、治療に至る思考過程を理解する。同時に研修の過程で、多岐にわたる症候、疾患を持つ患者を神経内科専門医に紹介する際のタイミングや基本情報取得の必要性を理解する。

## 2) 責任指導医と研修施設

### ① 責任指導医

岩本 一秀 (京都山城総合医療センター 副院長兼神経内科部長)

### ② 研修施設

京都山城総合医療センター

## 3) 研修目標

一般目標：臨床一般に応用可能な、神経疾患の知識と基礎的臨床能力を身につけた医師となるために、神経内科における基本的診察能力（態度、知識、技能）を修得する。

行動目標

- ① 神経学的診察法を習得し、病変・疾患を推察できる。
- ② 神経内科疾患に特徴的な病歴を聴取できる。
- ③ プライマリ・ケアに必要な神経学的診察ができる。
- ④ 神経内科領域の検査を理解し、検査計画の立案、検査指示・実施、結果判定ができる。
- ⑤ 内科基本手技（採血、静脈確保、動脈血採血、中心静脈確保、腰椎穿刺）の適応を決定し、実施できる。
- ⑥ 神経内科疾患の基本的治療法の適応を決定し、実施できる。
- ⑦ 意識障害・嚥下障害・痙攣・呼吸筋麻痺患者の初期救急対応ができる。

## 4) 方略

### ①研修方法

担当患者を受け持ち、指導医と相談しながら適切な病歴聴取、身体診察を行い、ガイドラインの利用、文献検索など情報収集しながら、適切な診療を実施していく。

②週間スケジュール

|    | AM    | PM            |
|----|-------|---------------|
| 月曜 | 病棟    | 病棟、カンファレンス    |
| 火曜 | 外来    | 外来、病棟         |
| 水曜 | 外来    | 外来、病棟         |
| 木曜 | 外来、病棟 | 外来、病棟         |
| 金曜 | 外来    | 外来、病棟、カンファレンス |

5) 評価

「研修医評価表」に研修医が自己評価を記入し、その後、指導医の評価をうける。

# ＜生活習慣病内科＞

## 1) 目的と特徴

当科の研修は、糖尿病や高血圧といった自覚症状の無い初期から、狭心症や腎不全といった病気の合併症までを一連となって研修することにより、予防の大切さを学ぶのが目的である。当科は、糖尿病専門医、腎臓専門医、循環器専門医の合同チームであり、様々な観点から治療を行う。

## 2) 責任指導医と研修施設

### ① 責任指導医

堤 丈士（京都山城総合医療センター 内科医長）

### ② 研修施設

京都山城総合医療センター

## 3) 研修目標

一般目標：生活習慣病の診療に必要な基本的知識や技能を習得する。生活習慣病やそれが原因と考えられた心疾患や腎疾患の患者を担当し、そうならないようにあるいは繰り返さないような生活習慣指導を学ぶ。

### 行動目標

- ① 患者様に対して高血圧及び糖尿病、高脂血症の生活指導ができる。
- ② 疾病ごとによる治療管理ができる。（投薬。）
  - 1) 高血圧、降圧剤の種類と特性、使い分け。
  - 2) 糖尿病、経口血糖降下剤およびインスリン治療。
  - 3) これから起こりうる合併症の教育。
- ③ 糖尿病や高血圧症例の進行した状態への対応（心血管および腎疾患、網膜症等）ができる。必要に応じて心臓カテーテル治療や腎生検にも参加可能。
- ④ 学会での発表を行うことにより、学会活動の重要性やその楽しさを学ぶ。（研修中になにかテーマを見つける。）
- ⑥ 指導医の指導のもと、糖尿病教室を担当する。

## 4) 方略

### ① 研修方法

患者を担当（5～6名まで、他科との併診もあり）し、指導医から適切な診療方法を学ぶ。生活習慣病以外の患者も興味深い症例（急性冠症候群や重症心不全、ASO、急性腎不全、内分泌疾患等）を担当する。

## ②週間スケジュール

|    | AM              | PM         |
|----|-----------------|------------|
| 月曜 | 回診/糖尿病外来        | 生活習慣病外来    |
| 火曜 | 回診/超音波検査、ドレッドミル | 症例について講義   |
| 水曜 | /循環器外来          | 糖尿病教室      |
| 木曜 | /心臓カテーテル検査      | 糖尿病についての講義 |
| 金曜 | /腎生検など腎臓内科研修    | 病棟         |

平日朝8時30分から担当患者の回診

基本毎日何らかの課題がある（20分程度の勉強のできる程度）

## 5) 評価

「研修医評価表」に研修医が自己評価を記入し、その後、指導医の評価をうける。

# <リウマチ科>

## 1) 目的と特徴

臨床一般に応用可能な臨床知識と基礎的診療能力を身につけた医師となるため、リウマチ・膠原病内科における基本的診療・技術を修得する。全身性疾患である自己免疫疾患の診察を通して正確な病歴を取得する手技、診断、治療に至る思考過程を理解する。同時に研修の過程で、多岐にわたる症候、疾患においてリウマチ科専門医に紹介する必要性を理解する。

## 2) 責任指導医と研修施設

### ① 責任指導医

村上 憲（京都山城総合医療センター リウマチ科医長）

### ② 研修施設

京都山城総合医療センター

## 3) 研修目標

一般目標：臨床一般に応用可能な、リウマチ・膠原病の知識と基礎的臨床能力を身につけた医師となるために、リウマチ科における基本的診療能力（態度、知識、技能）を修得する。

### 行動目標

- ① 一般臨床医として必要な、リウマチ・膠原病の基本的な臨床能力を身につける。
- ② リウマチ・膠原病の診療に必要な基本的知識を学び、その多臓器にわたる多彩な症候に対応する能力を身につける。
- ③ 多様な症候を呈するリウマチ・膠原病の診療を経験することにより、一般臨床医としてプライマリ・ケアに必要とされる内科の基本的知識と検査・診療手技を身に付ける。
- ④ 不明熱など、臓器特異的でない症状を呈する症例に対し、適切な検査計画を立て、診断に至る技術を身に付ける。

## 4) 方略

### ① 研修方法

担当患者を受け持ち、指導医と相談しながら適切な病歴聴取、身体診察を行い、ガイドラインなどを利用しながら、適切な診療を決定していく。

②週間スケジュール

|    | AM    | PM           |
|----|-------|--------------|
| 月曜 | 病棟    | 病棟、関節超音波     |
| 火曜 | 外来    | 外来、病棟        |
| 水曜 | 病棟    | 病棟           |
| 木曜 | 外来、病棟 | 病棟           |
| 金曜 | 病棟    | 病棟   カンファレンス |

5) 評価

「研修医評価表」に研修医が自己評価を記入し、その後、指導医の評価をうける。

# <放射線科>

## 1) 目的と特徴

地域中核病院の当院の放射線科には、コモンディジーズから比較的なまれな疾患まで、幅広い疾患が集まってくる。外来診療、救急診療、入院診療における様々な放射線科の検査を経験する事で、基本的な知識を身につけることができる。また、I V R検査を実際に経験する事で、手技の基本を理解する事ができる。

## 2) 指導医と研修施設

### ① 指導医

石原 潔 (京都山城総合医療センター 副院長兼放射線科部長)

### ② 研修施設

京都山城総合医療センター

## 3) 研修目標

一般目標：患者、家族、診療放射線技師をはじめとするコメディカルとの円滑なコミュニケーションを行う。患者の検査、診察、治療を適切に行うために必要な医療人としての基本的診療能力（態度、知識、技能）を身につける。

### 行動目標

- ① 放射線被曝の不利益と検査による利益を理解した上で、検査の適応を考察する。
- ② 放射線科検査に関する患者への適切なインフォームド・コンセントを行う。
- ③ 放射線科における検査、治療をするために関与する医療スタッフの役割と協力体制を理解する。
- ④ 救急診療、コモンディジーズの診療に必要な検査に関し、基礎的な読影力を身につける。
- ⑤ 他科とのカンファレンスに参加する中で放射線科の役割を理解する。
- ⑥ 放射線科における検査、治療に必要な基本的な手技について学ぶ。
- ⑦ 読影レポートを実際に作成し、指導を受ける。
- ⑧ 3D ワークステーションの基本を理解し、3D画像を作成する。
- ⑨ 画像の成り立ちについて、その原理を理解し、診断に応用する。

## 4) 方略

### ①研修方法

ティーチングファイルや実際の症例の読影を行い、指導を受ける。各種I V R検査を指導医と共に実施し、指導を受ける。

②週間スケジュール

|    | AM    | PM |
|----|-------|----|
| 月曜 | 読影    | 読影 |
| 火曜 | I V R | 読影 |
| 水曜 | 読影    | 読影 |
| 木曜 | 読影    | 読影 |
| 金曜 | I V R | 読影 |

5) 評価

「研修医評価表」に研修医が自己評価を記入し、その後、指導医の評価をうける。

# < 消化器外科 >

## 1) 消化器外科の特徴

癌の手術を第1使命としている。鏡視下手術（腹腔鏡手術）も積極的に推進している。その他、良性の胆石症、鼠径ヘルニアや急性腹症などの緊急手術にも対応している。適宜救急対応もしている。

## 2) 責任指導医と研修施設

### ① 責任指導医

中田 雅支 （京都山城総合医療センター 外科部長）

### ② 研修施設

京都山城総合医療センター

## 3) 研修目標

一般目標: 消化器外科の患者に的確に対応できるよう、必要とされる基本的診療能力(態度、知識、技能)を身につける。

行動目標:

- ① 消化器外科に含まれる各種主要手術を経験し、基本的な技術を学ぶ。
- ② 指導医のもと担当医として症例を受け持ち、消化器外科診療における適切なインフォームド・コンセントを得る訓練を行う。
- ③ 術後の療養、生活などの指導を適切に行う。
- ④ 文献や指導医の意見などの教育資源を活用する方法を学ぶ。
- ⑤ カンファレンスに参加し、症例を提示し、討論する。
- ⑥ 個々の症例に合わせて、EBMに基づいた診療を学ぶ。

## 4) 方略

### ① 研修方法

指導医・上級医管理の下、臨床の現場で、基本手技、手術、術前術後管理、癌化学療法、救急症例、各種処置・検査等に接し（実践し）消化器外科医としての基本姿勢や臨床の実際を体感する。

個々の希望や技量に応じて、研修スケジュールを柔軟に組み替える。

## ②週間スケジュール

|    | AM       | PM       |
|----|----------|----------|
| 月曜 | 外来、病棟    | 外来、病棟    |
| 火曜 | 外来、手術、病棟 | 外来、手術、病棟 |
| 水曜 | 外来、手術、病棟 | 外来、手術、病棟 |
| 木曜 | 外来、病棟    | 手術、病棟    |
| 金曜 | 外来、病棟    | 手術、病棟    |

毎週月曜：手術症例検討会

毎週火曜：消化器合同カンファレンス

第1月曜日：医局会

第3月曜日：カンサーボード

最終月曜日：救急症例検討会

## 5) 評価

「研修医評価表」に研修医が自己評価を記入し、その後、指導医の評価をうける。

# <呼吸器外科>

## 1) 目的と特徴

呼吸器外科領域でよくみられる疾患として、肺がん、転移性肺腫瘍、気胸の患者を受け持ち、診断・治療・周術期管理を経験し、基本手技を実際に行うことを目的とする。呼吸生理、血液ガス分析の知識を臨床に応用し、実際の患者の呼吸管理を行うために必要な知識と手技を習得する。外科の手技を経験するだけでなく、人工呼吸器を実際に設定し、使用法の基礎を習得できる点が特徴である。

将来、外科へ進む人にとっては、外科専門医を取るために、最低限必要な症例数を経験することができる。外科へ進まない人にとっても、胸部の画像診断、気胸に対する胸腔ドレナージ、胸腔ドレーンの管理方法、人工呼吸器の基礎について知識を習得することができる。

## 2) 責任指導医と研修施設

### ① 責任指導医

伊藤 和弘 (京都山城総合医療センター 呼吸器外科部長)

### ② 研修施設

京都山城総合医療センター

## 3) 研修目標

一般目標:呼吸器外科対象疾患を認識し、指導医と共に診断、治療に参加することにより呼吸器外科診療を理解する。肺癌の治療に関して、手術療法以外の放射線療法、化学療法、緩和について基本的知識を身につけ、個々の患者にとって最良の治療方針を提供するために必要な診療能力を修得する。

- ① 呼吸器外科医に必要な臨床判断能力、問題解決能力を理解する。
- ② 呼吸器外科検査、手術に参加し、解剖を理解するとともに検査実技、手術手技を学ぶ。
- ③ 呼吸器外科における倫理、医療安全に基づいた適切な態度と習慣を身につける。
- ④ 生涯学習の中での呼吸器外科疾患の位置づけを学ぶ。

### 行動目標

研修期間に応じて(1)～(10)の行動目標を設定しその実現を目指す。

別表のごとく到達目標の達成程度について自己評価をするとともに、指導医による評価を受け自身の知識、診療技術の修得の励みとする。

- (1)呼吸器外科対象疾患を理解し独自に検査計画を立案でき、治療計画の決定に参加できるようにする。
- (2)肺癌の診断のために必要な検査(画像、採血、呼吸機能)を理解し、患者に説明できるようにする。

- (3) 気管支鏡検査の手順を会得して助手が務まるようにする。
- (3) 胸腔ドレーン挿入法を理解し実施する。胸腔ドレーンの管理法を修得する。
- (4) 開胸手技を理解し術者として実施する。
- (5) 肺部分切除術を理解し術者として参加すると共に術前処置、術後管理を実施できるようにする。
- (6) 肺葉切除術を理解し助手として参加すると共に術前処置、術後管理に参加できるようにする。
- (7) 血液ガス分析を実施し、検査結果を解釈できる。
- (8) 人工呼吸の適応について説明し、基本的な設定を行い、調整できるようにする。
- (9) 進行再発肺癌に対する放射線治療・化学療法の基本を理解する。
- (10) e-learningを通して、必要な医療情報を得るため手段を知り、自身の知識向上を図ることができる。

#### 4) 方略

##### ① 研修方法

担当患者を受け持ち、指導医と相談しながら適切な病歴聴取、身体診察を行い、ガイドラインなどを利用しながら、適切な診療を決定していく。

##### ② 週間スケジュール

|    | AM    | PM            |
|----|-------|---------------|
| 月曜 | 病棟、手術 | 術後管理          |
| 火曜 | 病棟    | 病棟            |
| 水曜 | 病棟処置  | e-learning    |
| 木曜 | 外来    | 外来            |
| 金曜 | 病棟    | 特殊外来（禁煙外来）、検査 |

#### 5) 評価

「研修医評価表」に研修医が自己評価を記入し、その後、指導医の評価をうける。

# <小児外科>

## 1) 目的と特徴

本研修の最大の目的は、実際の医療現場において診断や治療が行われる過程を、実際の患児に触れながら上級医と共に主治医として経験することである。

小児外科学は外科学の一部門であるが、決して狭い分野ではない。取り扱う臓器の多さは他科を大きく凌ぎ、脳・心臓・運動器以外すべてを扱う。耳鼻科領域、呼吸器・消化器・肝胆膵・腎・泌尿器・生殖器・形成まで、また時間経過から見ても、秒単位の判断が生死を分ける疾患から、一生かけて治療を行うものまで途方もなく広い分野であることは間違いない。侵襲・栄養・腫瘍・免疫・創傷治癒・集中治療・救急といった外科学の知識のみならず、新生児学、小児科学、発生学、遺伝学の集大成の上に成り立つ部門である。

研修に先立ち勉強する範囲が広すぎると感じるであろうが、まずは基本項目をしっかりと押さえることで十分である。担当した患児の疾患について、研修を通じてまずはポイントを絞って勉強し、その後深く掘り下げればよい。焦らずじっくりと充実した研修になることを願う。

## 2) 責任指導医と研修施設

### ① 責任指導医

佐々木 康成 (京都山城総合医療センター 小児外科部長)

### ② 研修施設

京都山城総合医療センター

## 3) 研修目標

一般目標: 日々の診療、救急の場で経験する小児外科疾患の患者に、的確に対応できるように、必要とされる基本的診療能力(態度、知識、技能)を身につける。

行動目標

① 患児を全人的に理解し、患児とその家族との良好な信頼関係を構築し、医療チーム構成員としての協調性、医療現場での安全への配慮、事故発生時の適切な対応を身につける。

② 小児外科診療において重要な基礎的知識を習熟する。

手術をはじめとする小児外科診療上で必要な局所解剖について学ぶ。

創傷治癒の基本を学び、その処置方法を習熟する。

外科病理学(癌など)の基礎を学ぶ。

周術期・外傷患者の管理などに必要な病態生理を理解し、手術・外傷の侵襲の大きさとそのリスクを判断する。

周術期・外傷患者に対する輸液・輸血に関して習熟する。

病態や疾患に応じた必要熱量を計算し、適切な経腸・経静脈栄養材の投与、管理について習熟する。

臓器特有、疾患特有の細菌の知識を持ち、感染症について習熟する。

基本的な緩和ケア（WHO方式がん疼痛治療法など）について習熟する。

- ③ 小児外科診療において基本的な診察、検査とその結果を理解し、適切な診断に役立たせる。
- ④ 小児外科診療において基本的な手技・手法について習熟し、臨床応用する。
- ⑤ 疼痛管理、感染予防、補正・維持輸液、栄養状態などに配慮し、適切な周術期管理を行う。
- ⑥ 退院・社会復帰に向けての適切な指導・調整を行う。
- ⑦ 緩和・終末期医療を必要とする患者とその家族に対して、告知をめぐる諸問題への配慮や心理社会的配慮をし、基本的な緩和ケアを行う。
- ⑧ チーム医療や法規との関連で重要な医療記録を適切に作成し、これを管理する。
- ⑨ 症例カンファレンスなどで、症例を呈示し討論する。

#### 4) 方略

##### ① 研修方法

担当患者を受け持ち、上級医と相談しながら適切な病歴聴取、身体診察を行い、各々の患児にあった適切な診療を決定していく。

##### ② 週間スケジュール

|    | AM                |              | PM | 夕                 |
|----|-------------------|--------------|----|-------------------|
|    | 9:00～             | 10:00～       |    |                   |
| 月曜 | 病棟回診<br>(小児外科/外科) | 病棟           | 外来 | 症例検討会             |
| 火曜 | 病棟回診<br>(小児外科/外科) | 手術(外科)       |    | 消化器内科・外科<br>合同検討会 |
| 水曜 | 外来/手術(外科)         |              | 外来 |                   |
| 木曜 | 手術(外科)            |              |    |                   |
| 金曜 | 病棟回診<br>(小児外科/外科) | 手術<br>(小児外科) | 病棟 |                   |

#### 5) 評価

「研修医評価表」に研修医が自己評価を記入し、その後、指導医の評価をうける。

# ＜脳神経外科＞

## 1) 目的と特徴

将来、脳神経外科を標榜しない場合にも、脳神経外科医療を自ら実践することで、脳神経外科の基本的診断能力と脳神経外科手技を身につけることを目的として作成されたものである。

病棟回診、手術、救急外来、カンファレンス等を通して、基礎的な脳神経外科診療を修得できる。基本的疾患として脳腫瘍、脳血管障害、頭部外傷、脊椎脊髄疾患を診療する。

## 2) 責任指導医と研修施設

### ① 責任指導医

岩本 芳浩 (京都山城総合医療センター 救急部長兼脳神経外科部長)

### ② 研修施設

京都山城総合医療センター

## 3) 研修目標

一般目標：日々の診療、救急の場で経験する脳神経外科的疾患の患者に、的確に対応できるように、必要とされる基本的診療能力(態度、知識、技能)を身につける。

### 行動目標

#### ① 脳神経外科患者の特性を学ぶ。

意識障害、神経脱落症状、頭蓋内圧亢進等の症状を修得し、急性、亜急性、慢性期とさまざまな時期の脳神経外科患者への対応を経験する。

#### ② 脳神経外科診療の特性を学ぶ。

対象年齢は小児から老年まで幅広く、年齢により症状の発現様式が異なる。診断にいたるまでの検査も多彩で、コンピュータを応用したものが多い。

#### ③ 脳神経外科治療の特性を学ぶ。

脳神経外科的の治療法は多彩で、単純な切除外科ではない。頭蓋内圧亢進、脳血流障害等の特殊な病態生理への対応も学ぶ。

#### ④ 脳神経外科救急疾患の特性を学ぶ。

的確な診断と迅速な対応を要求されること、総合的な知識が必要であることを経験する。

#### ⑤ 指導医の下で脳神経外科入院患者の問題点の整理と対策、術前検査の計画を行う。

#### ⑥ 脳神経外科疾患の診断と治療方針の決定に必要な神経学的診断・画像診断を行う。

#### ⑦ 指導医の下で周術期管理を行う。

#### ⑧ 一般的外科手技を修得する。

#### ⑨ 基本的脳神経外科手技を修得する。

#### ⑩ 病棟回診、ケースカンファレンスに参加し症例のプレゼンテーションを行う。

⑪ 指導医の下で脳神経外科的救急患者の鑑別診断と初期治療を行う。

#### 4) 方略

##### ① 研修方法

担当患者を受け持ち、指導医と相談しながら適切な病歴聴取、身体診察を行い、ガイドラインなどを利用しながら、適切な診療を決定していく。

##### ② 週間スケジュール

|    | AM        | PM          | 16:00～        |
|----|-----------|-------------|---------------|
| 月曜 | 病棟回診、救急外来 | 病棟回診、       | 脳外神内合同カンファレンス |
| 火曜 | 病棟回診、救急外来 | 病棟回診、血管造影検査 |               |
| 水曜 | 病棟回診      | 病棟回診、救急外来   |               |
| 木曜 | 病棟回診、手術   |             |               |
| 金曜 | 病棟回診、救急外来 | 神経ブロック、病棟回診 |               |

緊急手術を適宜行う。

#### 5) 評価

「研修医評価表」に研修医が自己評価を記入し、その後、指導医の評価をうける。

# ＜泌尿器科＞

## 1) 目的と特徴

泌尿器科研修の目的は、単に知識や技術を修得するのではなく、尿路・男性生殖器疾患の特殊性を踏まえた診断・治療についての考え方や自己学習能力を高めることである。泌尿器科を受診する患者は高齢者が多いことより複数の他疾患を有することが多い。また現在の高度に複雑化した泌尿器科診療体系は必然的にチーム医療の実践を求めている。したがって全人的な診療や、スタッフとの円滑なコミュニケーションを行なう態度を身に付けることは泌尿器科研修の重要な目的である。

病棟、外来診療を通して、全身管理、泌尿器科で扱う疾患の治療計画の作成のほか、内分泌疾患、遺伝性疾患、悪性疾患などの診療を指導医のもとに体験することができる。

当プログラムは、腎外傷、尿路結石症、急性陰嚢症のような救急疾患のほか、外来診療、病棟診療をとおして一般的な疾患の治療を指導医のもとで体験することができる。また前立腺検診を通じて予防医学を体験することもできる。基本的にはそれぞれの疾患のガイドラインに沿って治療を行い、指導する。

## 2) 責任指導医と研修施設

### ① 責任指導医

松原 弘樹 (京都山城総合医療センター 泌尿器科部長)

### ② 研修施設

京都山城総合医療センター

## 3) 研修目標

一般目標: 尿路・生殖器の病態生理と特殊性を理解し、科学的根拠にもとづいた医療をチーム医療で実践するために、必要な基本的診療能力(態度、知識、技能)を修得する。

行動目標

- ① 外来診察の医療面接を行なうことができる。
- ② 腹部、男性生殖器の診察を行なうことができる。
- ③ 必要な検査を選択することができる。
- ④ 診療録やその他の医療記録を適切に作成できる。
- ⑤ 治療計画を具体的に述べることができる。
- ⑥ 患者を全人的に理解し、患者・家族と良好な人間関係を確立できる。
- ⑦ 守秘義務を理解し、これに即した行動がとれる。
- ⑧ 治療計画を具体的に述べることができる。
- ⑨ 膀胱鏡検査、超音波検査、小手術を行なうことができる。
- ⑩ スタッフと良好なコミュニケーションを図ることができる。

- ⑪ 保健診療体制を理解し、これに即した診療ができる。
- ⑫ 院内感染を理解し、清潔な行為を行なうことができる。
- ⑬ 緩和・終末期医療を必要とする患者とその家族に対して、告知をめぐる諸問題への配慮や心理社会的配慮をし、基本的な緩和ケアを行う。

#### 4) 方略

##### ① 研修方法

指導医の指導の元、病棟患者の受け持ち、外来患者の病歴聴取、検査を行う。

泌尿器科医のカンファレンスに参加し、それぞれの患者の治療方針も決定していく。

##### ② 週間スケジュール

|    | AM    | PM    |
|----|-------|-------|
| 月曜 | 外来、病棟 | 外来、病棟 |
| 火曜 | 手術    | 手術    |
| 水曜 | 外来、病棟 | 外来、病棟 |
| 木曜 | 外来、病棟 | 手術    |
| 金曜 | 外来、病棟 | 外来、病棟 |

#### 5) 評価

「研修医評価表」に研修医が自己評価を記入し、その後、指導医の評価を受ける。

# 必要な到達目標の達成に適した研修診療科

| 研修分野<br>研修単位 | 京都山城総合医療センター   |          |          |          |         |    |          | 協力<br>病院・施設 |         | 京都山城総合医療センター |           |          |           |          |                 |               |          |           |           |          |           |          |          |   |   |
|--------------|--|----------|----------|----------|---------|----|----------|-------------|---------|--------------|-----------|----------|-----------|----------|-----------------|---------------|----------|-----------|-----------|----------|-----------|----------|----------|---|---|
|              | 必修   | 病院<br>必修 | 選択必修     |          |         |    | 選択<br>必修 | 必修          | 選択科目    |              |           |          |           |          |                 |               |          |           |           |          |           |          |          |   |   |
|              | オリエン<br>テー<br>ション  | 内科       | 救急<br>部門 | 整形<br>外科 | 麻酔<br>科 | 外科 | 小児<br>科  | 産婦<br>人科    | 精神<br>科 | 地域<br>医療     | 循環<br>器内科 | 腎臓<br>内科 | 消化<br>器内科 | 神経<br>内科 | 生活<br>習慣<br>病内科 | リウ<br>マチ<br>科 | 放射<br>線科 | 消化<br>器外科 | 呼吸<br>器外科 | 小児<br>外科 | 脳神<br>経外科 | 整形<br>外科 | 泌尿<br>器科 |   |   |
| I            | 医師としての基本的姿勢・態度   |          |          |          |         |    |          |             |         |              |           |          |           |          |                 |               |          |           |           |          |           |          |          |   |   |
| I-1          | 患者-医師関係  | ○        | ◎        | ○        | ○       | ○  | ○        | ○           | ○       | ○            | ○         | ○        | ○         | ○        | ○               | ○             | ○        | ○         | ○         | ○        | ○         | ○        | ○        | ○ | ○ |
| I-2          | チーム医療  | ○        | ○        | ◎        | ○       | ○  | ○        | ○           | ○       | ○            | ○         | ○        | ○         | ○        | ○               | ○             | ○        | ○         | ○         | ○        | ○         | ○        | ○        | ○ | ○ |
| I-3          | 問題対応能力   | ○        | ◎        | ○        | ○       | ○  | ○        | ○           | ○       | ○            | ○         | ○        | ○         | ○        | ○               | ○             | ○        | ○         | ○         | ○        | ○         | ○        | ○        | ○ | ○ |
| I-4          | 安全管理   | ◎        | ○        | ○        | ○       | ○  | ○        | ○           | ○       | ○            | ○         | ○        | ○         | ○        | ○               | ○             | ○        | ○         | ○         | ○        | ○         | ○        | ○        | ○ | ○ |
| I-5          | 症例提示   | ○        | ◎        | ○        | ○       | ○  | ○        | ○           | ○       | ○            | ○         | ○        | ○         | ○        | ○               | ○             | ○        | ○         | ○         | ○        | ○         | ○        | ○        | ○ | ○ |
| I-6          | 医療の社会性   | ◎        | ○        | ○        | ○       | ○  | ○        | ○           | ○       | ○            | ○         | ○        | ○         | ○        | ○               | ○             | ○        | ○         | ○         | ○        | ○         | ○        | ○        | ○ | ○ |
| II-A-1       | 基本的な身体診察法  |          |          |          |         |    |          |             |         |              |           |          |           |          |                 |               |          |           |           |          |           |          |          |   |   |
| II-A-1       | 医療面接   |          | ◎        | ○        | ○       | ○  | ○        | ○           | ◎       | ○            | ○         | ○        | ○         | ○        | ○               | ○             | ○        | ○         | ○         | ○        | ○         | ○        | ○        | ○ | ○ |
| II-A-2-1     | 全身観察   |          | ◎        | ○        | ○       | ○  | ○        | ○           | ○       | ○            | ○         | ○        | ○         | ○        | ○               | ○             | ○        | ○         | ○         | ○        | ○         | ○        | ○        | ○ | ○ |
| II-A-2-2     | 頭頸部  |          | ○        | ◎        |         | ○  | ○        |             | ○       |              |           |          |           | ◎        |                 |               |          | ○         |           |          | ○         |          |          |   |   |
| II-A-2-3     | 胸部(含乳房)  |          | ○        | ○        |         | ○  | ◎        |             | ○       |              | ○         |          |           | ○        |                 |               |          | ○         |           |          | ○         |          |          |   |   |
| II-A-2-4     | 腹部(含直腸)  |          | ◎        | ○        |         |    | ◎        |             | ○       |              |           | ○        | ○         |          | ○               | ○             |          | ◎         | ○         | ○        | ○         |          |          | ○ |   |
| II-A-2-5     | 泌尿生殖器(含産婦人科)   |          | ○        | ○        |         | ○  |          |             | ○       |              |           |          | ○         | ○        |                 |               |          | ○         |           |          | ○         | ○        | ○        | ◎ |   |
| II-A-2-6     | 骨・関節・筋肉  |          | ○        | ◎        | ◎       |    | ○        | ○           |         | ○            |           |          | ○         | ○        |                 | ◎             |          | ○         |           |          |           | ○        | ◎        |   |   |
| II-A-2-7     | 神経   |          | ◎        | ○        |         |    | ○        |             | ○       |              |           |          |           | ◎        |                 |               |          |           |           |          |           |          | ○        | ○ |   |
| II-A-2-8     | 小児   |          | ○        | ○        |         |    | ○        |             | ○       |              |           |          |           |          |                 |               |          | ○         |           | ◎        | ○         | ○        | ○        | ○ |   |
| II-A-2-9     | 精神面の診察   |          | ○        | ○        |         |    |          |             | ◎       | ○            |           |          |           |          |                 |               |          |           |           |          |           | ○        |          |   |   |
| II-A-3       | 基本的な臨床検査   |          |          |          |         |    |          |             |         |              |           |          |           |          |                 |               |          |           |           |          |           |          |          |   |   |
| II-A-3       | 必修項目 太字の検査について経験があること<br>※経験とは受け持ち患者の検査として診療に活用すること Aの検査で自ら実施する部分については、受け持ち症例でなくてもよい |          |          |          |         |    |          |             |         |              |           |          |           |          |                 |               |          |           |           |          |           |          |          |   |   |
| II-A-3-1     | 一般尿検査(尿沈渣顕微鏡検査を含む)   |          | ◎        | ○        |         | ○  | ○        | ○           |         |              |           | ○        |           | ○        | ○               | ○             | ○        | ○         | ○         | ○        | ○         | ○        | ○        | ○ | ○ |
| II-A-3-2     | 便検査(潜血、虫卵)   |          | ◎        |          |         |    | ○        |             |         |              |           | ○        |           | ○        |                 |               |          | ○         |           |          |           |          |          |   |   |
| II-A-3-3     | 血算・白血球分画   |          | ◎        | ○        | ○       | ○  | ○        | ○           |         |              |           | ○        | ○         | ○        | ○               | ○             | ○        | ○         | ○         | ○        | ○         | ○        | ○        | ○ | ○ |
| II-A-3-4     | A血液型判定・交差試験適合  |          | ○        | ○        | ○       | ○  | ◎        | ○           |         |              |           | ○        | ○         | ○        | ○               | ○             | ○        | ○         | ○         | ○        | ○         | ○        | ○        | ○ | ○ |
| II-A-3-5     | A心電図(12誘導) 負荷心電図検査   |          | ◎        | ○        |         |    | ○        |             |         |              | ◎         | ○        |           |          |                 |               |          |           |           |          |           |          |          |   |   |
| II-A-3-6     | A動脈血液ガス分析  |          | ○        | ◎        | ○       | ○  | ○        | ○           |         |              |           | ○        | ○         | ○        | ○               |               |          |           | ○         | ○        | ○         | ○        | ○        | ○ | ○ |
| II-A-3-7     | 血液生化学検査・簡易検査(血糖、電解質、尿素窒素など)  |          | ◎        | ○        | ○       | ○  | ○        | ○           | ○       |              |           | ○        | ○         | ○        | ○               | ○             |          |           | ○         | ○        | ○         | ○        | ○        | ○ | ○ |
| II-A-3-8     | 血液免疫血清学(免疫細胞検査、アレルギー検査を含む)   |          | ◎        | ○        |         |    | ○        |             |         |              |           | ○        |           | ○        | ○               |               | ◎        |           | ○         | ○        | ○         | ○        | ○        | ○ | ○ |
| II-A-3-9     | 細菌学的検査・薬剤感受性検査・検体の採取(痰、尿、血液など)・簡単な細菌学的検査(グラム染色など)                                    |          | ◎        | ○        | ○       |    | ○        | ○           | ○       |              |           | ○        | ○         | ○        | ○               | ○             |          |           | ○         | ○        | ○         | ○        | ○        | ○ | ○ |
| II-A-3-10    | 呼吸器機能検査・スパイロメトリー   |          | ○        |          |         | ◎  | ○        |             |         |              |           | ○        |           |          |                 |               |          |           | ○         | ◎        | ○         | ○        | ○        | ○ | ○ |
| II-A-3-11    | 髄液検査   |          | ◎        |          |         |    |          | ○           |         |              |           |          |           | ◎        |                 |               |          |           |           |          |           |          | ○        |   |   |
| II-A-3-12    | 細胞診・病理組織診断   |          | ○        |          |         |    | ○        |             | ◎       |              |           | ◎        | ○         |          |                 |               |          | ◎         |           |          |           |          | ○        | ○ | ○ |
| II-A-3-13    | 内視鏡検査  |          | ◎        |          |         |    | ○        |             |         |              |           |          | ◎         |          |                 |               |          |           | ○         | ○        |           |          |          |   |   |
| II-A-3-14    | A超音波検査   |          | ◎        |          |         | ○  | ○        | ○           | ◎       |              |           | ◎        | ◎         | ○        |                 |               | ○        |           | ○         |          |           |          |          |   | ○ |
| II-A-3-15    | 単純エックス線  |          | ◎        | ○        | ◎       |    | ○        | ○           |         |              |           | ○        | ○         | ○        |                 | ○             | ○        | ◎         |           | ○        | ○         |          |          |   |   |
| II-A-3-16    | 造影エックス線  |          | ◎        |          | ○       | ○  | ○        | ○           |         |              |           | ○        | ○         |          |                 |               | ◎        |           | ○         | ○        |           |          |          | ○ | ○ |

| 研修分野<br>研修単位 |   | 京都山城総合医療センター      |    |          |          |             |        |             | 協力<br>病院・施設      | 京都山城総合医療センター |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |
|--------------|---|-------------------|----|----------|----------|-------------|--------|-------------|------------------|--------------|------------------|-----------------------|------------------|-----------------------|------------------|---------------------------------|-----------------------|------------------|-----------------------|-----------------------|------------------|-----------------------|------------------|------------------|
|              |   | オリエン<br>テー<br>ション | 必修 | 病院<br>必修 | 選択必修     |             |        |             | 選択<br>必修         | 必修           | 選択科目             |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |
|              |   |                   | 内科 | 救急<br>部門 | 整形<br>外科 | 麻<br>酔<br>科 | 外<br>科 | 小<br>児<br>科 | 産<br>婦<br>人<br>科 | 精<br>神<br>科  | 地<br>域<br>医<br>療 | 循<br>環<br>器<br>内<br>科 | 腎<br>臓<br>内<br>科 | 消<br>化<br>器<br>内<br>科 | 神<br>経<br>内<br>科 | 生<br>活<br>習<br>慣<br>病<br>内<br>科 | リ<br>ウ<br>マ<br>テ<br>科 | 放<br>射<br>線<br>科 | 消<br>化<br>器<br>外<br>科 | 呼<br>吸<br>器<br>外<br>科 | 小<br>児<br>外<br>科 | 脳<br>神<br>経<br>外<br>科 | 整<br>形<br>外<br>科 | 泌<br>尿<br>器<br>科 |
| II-A-3-17    | エックス線CT   |                   | ○  | ◎        | ○        | ○           | ○      | ○           |                  |              | ○                | ○                     | ○                | ○                     |                  |                                 | ◎                     | ○                | ○                     |                       | ○                | ○                     | ○                | ○                |
| II-A-3-18    | MRI検査   |                   | ○  | ○        | ○        | ○           |        |             |                  |              |                  | ○                     | ○                | ◎                     |                  |                                 | ◎                     |                  |                       |                       | ○                | ○                     |                  |                  |
| II-A-3-19    | 核医学検査   |                   | ◎  |          | ○        |             | ○      |             |                  |              | ○                | ○                     | ○                | ○                     |                  |                                 | ◎                     | ○                | ○                     |                       | ○                | ○                     | ○                | ○                |
| II-A-3-20    | 神経生理学的検査(脳波・筋電図など)  |                   | ○  |          |          |             |        |             |                  |              |                  |                       |                  | ◎                     |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  | ○                     |                  |                  |
| II-A-4       | 基本的手技<br>必修項目 太字は自ら行った経験があること                                 |                   |    |          |          |             |        |             |                  |              |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |
| II-A-4-1     | 気道確保を実施できる  |                   | ○  | ◎        | ○        | ○           | ○      | ○           |                  |              | ○                | ○                     | ○                | ○                     | ○                | ○                               |                       | ○                | ○                     | ○                     | ○                | ○                     | ○                | ○                |
| II-A-4-2     | 人工呼吸を実施できる(バッグ・バルブ・マスクによる徒手換気を含む)                             |                   | ○  | ◎        | ○        | ○           |        | ○           | ○                |              | ○                |                       | ○                | ○                     | ○                | ○                               |                       | ○                | ○                     |                       |                  | ○                     | ○                | ○                |
| II-A-4-3     | 胸骨圧迫を実施できる  |                   | ○  | ◎        | ○        | ○           |        | ○           | ○                |              | ○                | ○                     | ○                | ○                     | ○                | ○                               |                       | ○                | ○                     | ○                     | ○                | ○                     | ○                | ○                |
| II-A-4-4     | 圧迫止血法を実施できる   |                   | ○  | ◎        | ○        |             | ○      |             |                  |              | ○                |                       |                  | ○                     | ○                |                                 |                       | ○                |                       | ○                     | ○                | ○                     | ○                |                  |
| II-A-4-5     | 包帯法を実施できる   |                   | ○  | ○        | ○        |             | ◎      |             |                  |              |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       | ○                |                       | ○                     | ○                | ○                     | ○                | ○                |
| II-A-4-6     | 注射法(皮内、皮下、筋肉、点滴、静脈確保、中心静脈確保)を実施できる                            |                   | ◎  | ○        | ○        | ○           | ○      |             | ○                |              | ◎                |                       | ○                | ○                     | ○                | ○                               |                       | ○                | ○                     | ○                     | ○                | ○                     | ○                | ○                |
| II-A-4-7     | 採血法(静脈血、動脈血)を実施できる  |                   | ◎  | ○        | ○        | ○           | ○      | ○           |                  |              | ○                |                       | ○                | ○                     | ○                | ○                               |                       | ○                | ○                     | ○                     | ○                | ○                     | ○                | ○                |
| II-A-4-8     | 穿刺法(腰椎)を実施できる   |                   | ○  | ○        | ○        | ◎           |        |             |                  |              | ○                |                       | ○                | ○                     | ○                |                                 |                       |                  |                       |                       |                  | ○                     | ○                |                  |
| II-A-4-9     | 穿刺法(胸腔、腹腔)を実施できる  |                   | ○  | ○        |          |             | ◎      |             |                  |              | ○                |                       | ○                |                       | ○                | ○                               |                       | ○                | ○                     | ○                     |                  |                       |                  |                  |
| II-A-4-10    | 導尿法を実施できる   |                   | ○  | ○        | ○        | ◎           | ○      |             |                  |              | ○                |                       | ○                | ○                     | ○                | ○                               |                       | ○                | ○                     | ○                     | ○                | ○                     | ○                | ◎                |
| II-A-4-11    | ドレーン・チューブ類の管理ができる   |                   |    | ○        | ○        |             | ◎      |             |                  |              |                  |                       | ○                |                       |                  |                                 | ○                     | ○                | ○                     | ○                     | ○                | ○                     | ○                | ○                |
| II-A-4-12    | 胃管の挿入と管理ができる  |                   | ○  | ◎        | ○        |             | ○      |             |                  |              | ○                |                       | ◎                | ○                     | ○                | ○                               |                       | ○                | ○                     | ○                     | ○                | ○                     | ○                | ○                |
| II-A-4-13    | 局所麻酔法を実施できる   |                   | ○  | ◎        | ○        | ○           | ○      |             |                  |              | ○                |                       | ○                | ○                     | ○                | ○                               |                       | ○                | ○                     | ○                     | ○                | ○                     | ○                | ○                |
| II-A-4-14    | 創部消毒とガーゼ交換を実施できる  |                   |    | ◎        | ○        |             | ○      |             |                  |              |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       | ○                | ○                     |                       | ○                | ○                     | ○                | ○                |
| II-A-4-15    | 簡単な切開・排膿を実施できる  |                   |    | ◎        | ○        |             | ○      |             |                  |              |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       | ○                |                       | ○                     | ○                | ○                     | ○                | ○                |
| II-A-4-16    | 皮膚縫合法を実施できる   |                   |    | ◎        | ○        |             | ○      |             |                  |              | ○                |                       |                  |                       |                  |                                 |                       | ○                | ○                     | ○                     | ○                | ○                     | ○                | ○                |
| II-A-4-17    | 軽度の外傷・熱傷の処置を実施できる   |                   |    | ◎        | ○        |             | ○      |             |                  |              |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  | ○                |
| II-A-4-18    | 気管挿管を実施できる  |                   |    | ○        | ○        | ◎           | ○      |             |                  |              | ○                |                       | ○                | ○                     | ○                | ○                               |                       | ○                | ○                     | ○                     | ○                | ○                     | ○                | ○                |
| II-A-4-19    | 除細動を実施できる   |                   | ○  | ◎        | ○        | ○           | ○      |             |                  |              | ◎                |                       | ○                | ○                     | ○                | ○                               |                       | ○                | ○                     | ○                     | ○                | ○                     | ○                | ○                |
| II-A-5       | 基本的治療法  |                   |    |          |          |             |        |             |                  |              |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |
| II-A-5-1     | 療養指導(安静度、体位、食事、入浴、排泄、環境整備を含む)ができる                             |                   | ◎  | ○        | ○        |             | ○      | ○           | ○                | ○            | ○                |                       | ○                | ○                     | ○                | ○                               | ○                     | ○                | ○                     | ○                     | ○                | ○                     | ○                | ○                |
| II-A-5-2     | 薬物の作用、副作用、相互作用について理解し、薬物治療(抗菌薬、副腎皮質ステロイド薬、解熱薬、麻薬、血液製剤を含む)ができる |                   | ◎  | ○        | ○        | ○           | ○      | ○           | ○                | ○            | ○                |                       | ○                | ○                     | ○                | ○                               | ○                     | ○                | ○                     | ○                     | ○                | ○                     | ○                | ○                |
| II-A-5-3     | 基本的な輸液ができる  |                   | ◎  | ○        | ○        | ○           | ○      | ○           | ○                | ○            | ○                |                       | ○                | ○                     | ○                | ○                               | ○                     | ○                | ○                     | ○                     | ○                | ○                     | ○                | ○                |
| II-A-5-4     | 輸血(成分輸血を含む)による効果と副作用について理解し、輸血が実施できる                          |                   | ○  | ○        | ○        | ○           | ◎      | ○           | ○                | ○            | ○                |                       | ○                | ○                     | ○                | ○                               | ○                     | ○                | ○                     | ○                     | ○                | ○                     | ○                | ○                |
| II-A-6       | 医療記録<br>必修項目 太字は自ら行った経験があること ※CPCレポートとは剖検報告のこと                |                   |    |          |          |             |        |             |                  |              |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |
| II-A-6-1     | 診療録の作成  |                   | ◎  | ○        | ○        | ○           | ○      | ○           | ○                | ○            | ○                |                       | ○                | ○                     | ○                | ○                               | ○                     | ○                | ○                     | ○                     | ○                | ○                     | ○                | ○                |
| II-A-6-2     | 処方箋、指示箋の作成  |                   | ◎  | ○        | ○        | ○           | ○      | ○           | ○                | ○            | ○                |                       | ○                | ○                     | ○                | ○                               | ○                     | ○                | ○                     | ○                     | ○                | ○                     | ○                | ○                |
| II-A-6-3     | 診断書の作成  |                   | ◎  | ○        | ○        | ○           | ○      | ○           | ○                | ○            | ○                |                       | ○                | ○                     | ○                | ○                               | ○                     | ○                | ○                     | ○                     | ○                | ○                     | ○                | ○                |
| II-A-6-4     | 死亡診断書の作成  |                   | ◎  | ○        |          | ○           |        |             |                  |              | ○                |                       | ○                | ○                     | ○                | ○                               |                       | ○                | ○                     | ○                     | ○                | ○                     | ○                | ○                |

|           |  | 京都山城総合医療センター |    |      |      |     |      |     | 協力<br>病院・施設 |      | 京都山城総合医療センター |       |      |       |      |         |       |      |       |       |      |       |      |      |   |   |
|-----------|--|--------------|----|------|------|-----|------|-----|-------------|------|--------------|-------|------|-------|------|---------|-------|------|-------|-------|------|-------|------|------|---|---|
|           |  | オリエンテーション    | 必修 |      | 病院必修 |     | 選択必修 |     |             | 選択必修 | 必修           | 選択科目  |      |       |      |         |       |      |       |       |      |       |      |      |   |   |
| 研修分野      | 研修単位   |              | 内科 | 救急部門 | 整形外科 | 麻酔科 | 外科   | 小児科 | 産婦人科        | 精神科  | 地域医療         | 循環器内科 | 腎臓内科 | 消化器内科 | 神経内科 | 生活習慣病内科 | リウマチ科 | 放射線科 | 消化器外科 | 呼吸器外科 | 小児外科 | 脳神経外科 | 整形外科 | 泌尿器科 |   |   |
| II-A-6-5  | CPC(臨床病理検討会)レポートを作成し、症例呈示できる   |              |    |      |      |     |      |     |             |      |              |       |      |       |      |         |       |      |       |       |      |       |      |      |   |   |
| II-A-6-6  | 紹介状、返信   |              | ◎  | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○           | ○    | ○            | ○     | ○    | ○     | ○    | ○       | ○     | ○    | ○     | ○     | ○    | ○     | ○    | ○    | ○ | ○ |
| II-A-7    | 診療計画   |              |    |      |      |     |      |     |             |      |              |       |      |       |      |         |       |      |       |       |      |       |      |      |   |   |
| II-A-7-1  | 診療計画(診断、治療、患者・家族への説明を含む)を作成できる   |              | ◎  | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○           | ○    |              | ○     | ○    | ○     | ○    | ○       | ○     | ○    | ○     | ○     | ○    | ○     | ○    | ○    | ○ | ○ |
| II-A-7-2  | 診療ガイドラインやクリティカルパスを理解し活用できる   |              | ◎  | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○           | ○    |              | ○     | ○    | ○     | ○    | ○       | ○     | ○    | ○     | ○     | ○    | ○     | ○    | ○    | ○ | ○ |
| II-A-7-3  | 入退院の適応を判断できる(デイサージャリー症例を含む)  |              | ◎  | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○           | ○    |              | ○     | ○    | ○     | ○    | ○       | ○     | ○    | ○     | ○     | ○    | ○     | ○    | ○    | ○ | ○ |
| II-A-7-4  | QOL(Quality of Life)を考慮にいたった総合的な管理計画(リハビリテーション、社会復帰、在宅医療、介護を含む)へ参画する     |              | ◎  | ○    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○           | ○    |              | ○     | ○    | ○     | ○    | ○       | ○     | ○    | ○     | ○     | ○    | ○     | ○    | ○    | ○ | ○ |
| II-B-1    | 頻度の高い症状 自ら診療し、鑑別診断を行う<br>必修項目 太字の症状を経験し、レポートを提出する<br>経験とは、自ら診療し鑑別診断を行うこと |              |    |      |      |     |      |     |             |      |              |       |      |       |      |         |       |      |       |       |      |       |      |      |   |   |
| II-B-1-1  | 全身倦怠感  |              | ◎  | ○    |      |     |      |     |             | ○    | ○            | ○     |      | ○     | ○    | ○       | ○     |      |       | ○     |      |       |      |      |   |   |
| II-B-1-2  | 不眠   |              | ◎  | ○    |      |     |      |     |             | ○    | ○            |       |      | ○     | ○    | ○       |       |      |       |       |      |       |      |      |   |   |
| II-B-1-3  | 食欲不振   |              | ◎  |      |      |     |      |     |             | ○    | ○            |       |      | ○     | ○    | ○       |       |      |       |       |      |       |      |      |   |   |
| II-B-1-4  | 体重減少、体重増加  |              | ◎  |      |      |     |      |     |             | ○    |              |       |      | ○     |      | ◎       |       |      |       |       |      |       |      |      |   |   |
| II-B-1-5  | 浮腫   |              | ◎  |      |      |     |      |     |             | ○    | ◎            |       |      |       |      |         |       |      |       |       |      |       |      |      |   |   |
| II-B-1-6  | リンパ節腫脹   |              | ◎  |      |      |     | ○    | ○   |             | ○    |              |       |      |       |      |         |       |      |       |       | ○    |       |      |      |   |   |
| II-B-1-7  | 発疹   |              | ◎  |      |      |     |      | ○   |             | ○    | ○            |       | ○    |       |      | ○       |       |      |       |       | ○    |       |      |      |   |   |
| II-B-1-8  | 黄疸   |              | ◎  | ○    |      |     | ○    |     |             | ○    |              |       | ◎    |       |      |         |       |      | ○     |       |      |       |      |      |   |   |
| II-B-1-9  | 発熱   |              | ◎  | ○    |      |     | ○    |     |             | ○    | ○            |       | ○    | ○     | ○    |         |       |      |       | ○     |      |       |      |      |   |   |
| II-B-1-10 | 頭痛   |              | ○  | ◎    |      |     | ○    |     |             | ○    |              |       |      | ◎     |      |         |       |      |       |       |      |       |      |      |   |   |
| II-B-1-11 | めまい  |              | ○  | ◎    |      |     |      |     |             | ○    |              |       |      | ◎     |      |         |       |      |       |       |      |       |      |      |   |   |
| II-B-1-12 | 失神   |              | ○  |      |      |     |      |     |             | ○    | ○            | ○     |      | ◎     |      |         |       |      |       |       |      |       |      |      |   |   |
| II-B-1-13 | けいれん発作   |              | ○  |      |      |     |      |     |             | ○    |              |       |      | ◎     |      | ◎       |       |      |       |       |      |       |      |      |   |   |
| II-B-1-14 | 視力障害、視野狭窄  |              | ○  |      |      |     |      |     |             | ○    |              |       |      | ○     | ◎    | ○       |       |      |       |       |      |       |      |      |   |   |
| II-B-1-15 | 結膜の充血  |              | ○  | ○    |      |     | ○    |     |             | ○    |              |       |      |       |      |         |       |      |       |       |      |       |      |      |   |   |
| II-B-1-16 | 聴覚障害   |              | ◎  | ○    |      |     |      |     |             | ○    |              |       |      | ○     |      | ○       |       |      |       |       |      |       |      |      |   |   |
| II-B-1-17 | 鼻出血  |              | ○  | ◎    |      |     |      |     |             | ○    |              |       |      |       |      |         |       |      |       |       |      |       |      |      |   |   |
| II-B-1-18 | 嘔声   |              | ◎  | ○    |      |     | ○    |     |             | ○    | ○            |       |      |       |      |         |       |      |       | ○     |      |       |      |      |   |   |
| II-B-1-19 | 胸痛   |              | ◎  | ○    | ○    |     | ○    |     |             | ○    | ◎            |       |      |       |      |         |       |      |       | ○     |      |       |      | ○    |   |   |
| II-B-1-20 | 動悸   |              | ◎  | ○    |      |     |      |     |             | ○    | ○            | ◎     |      |       |      |         |       |      |       |       |      |       |      |      |   |   |
| II-B-1-21 | 呼吸困難   |              | ○  | ◎    |      |     |      |     |             | ○    | ○            | ○     |      | ○     |      | ○       |       |      |       | ○     |      |       |      |      |   |   |
| II-B-1-22 | 咳・痰  |              | ◎  |      |      |     |      |     |             | ○    |              |       |      |       |      |         |       |      |       | ◎     |      |       |      |      |   |   |
| II-B-1-23 | 嘔気・嘔吐  |              | ◎  | ○    |      |     |      |     |             | ○    | ○            |       | ○    |       |      |         |       |      |       |       | ○    |       |      |      |   |   |
| II-B-1-24 | 胸やけ  |              | ◎  |      |      |     |      |     |             | ○    | ○            |       | ○    |       | ○    |         |       |      |       |       |      |       |      |      |   |   |
| II-B-1-25 | 嚥下困難   |              | ◎  | ○    |      |     |      |     |             | ○    |              |       | ○    | ○     | ○    | ○       |       |      |       |       | ○    |       |      |      |   |   |

| 研修分野<br>研修単位        | 京都山城総合医療センター   |                  |                  |                  |             |        |                  | 協力<br>病院・施設      | 京都山城総合医療センター     |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
|---------------------|--|------------------|------------------|------------------|-------------|--------|------------------|------------------|------------------|------------------|-----------------------|------------------|-----------------------|------------------|---------------------------------|-----------------------|------------------|-----------------------|-----------------------|------------------|-----------------------|------------------|------------------|---|
|                     | 必修   | 病<br>院<br>必<br>修 | 選<br>択<br>必<br>修 |                  |             |        | 選<br>択<br>必<br>修 | 必<br>修           | 選<br>択<br>科<br>目 |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
|                     | オ<br>リ<br>エン<br>テー<br>ション  | 内<br>科           | 救<br>急<br>部<br>門 | 整<br>形<br>外<br>科 | 麻<br>酔<br>科 | 外<br>科 | 小<br>児<br>科      | 産<br>婦<br>人<br>科 | 精<br>神<br>科      | 地<br>域<br>医<br>療 | 循<br>環<br>器<br>内<br>科 | 腎<br>臓<br>内<br>科 | 消<br>化<br>器<br>内<br>科 | 神<br>経<br>内<br>科 | 生<br>活<br>習<br>慣<br>病<br>内<br>科 | リ<br>ウ<br>マ<br>チ<br>科 | 放<br>射<br>線<br>科 | 消<br>化<br>器<br>外<br>科 | 呼<br>吸<br>器<br>外<br>科 | 小<br>児<br>外<br>科 | 脳<br>神<br>経<br>外<br>科 | 整<br>形<br>外<br>科 | 泌<br>尿<br>器<br>科 |   |
| II-B-1-26           | 腹痛   |                  | ◎                | ○                |             |        | ○                | ○                |                  | ○                |                       |                  | ◎                     |                  | ○                               |                       |                  | ○                     |                       | ○                |                       |                  |                  |   |
| II-B-1-27           | 便通異常(下痢、便秘)  |                  | ◎                | ○                |             |        |                  |                  |                  | ○                |                       |                  | ◎                     |                  | ○                               |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
| II-B-1-28           | 腰痛   |                  | ○                | ○                | ◎           | ◎      |                  |                  |                  | ○                | ○                     |                  | ○                     |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  | ○                     | ◎                |                  |   |
| II-B-1-29           | 関節痛  |                  | ○                | ○                | ◎           | ◎      |                  |                  |                  | ○                |                       |                  |                       |                  |                                 | ◎                     |                  |                       |                       |                  |                       | ◎                |                  |   |
| II-B-1-30           | 歩行障害   |                  | ◎                | ○                | ◎           |        |                  |                  |                  | ○                |                       |                  |                       | ○                | ○                               | ○                     |                  |                       |                       |                  |                       | ○                | ◎                |   |
| II-B-1-31           | 四肢のしびれ   |                  | ◎                | ○                | ○           |        |                  |                  |                  | ○                |                       |                  |                       | ◎                | ○                               | ○                     |                  |                       |                       |                  |                       | ○                | ○                |   |
| II-B-1-32           | 血尿   |                  | ○                | ◎                | ○           | ○      |                  |                  |                  | ○                | ○                     | ◎                | ○                     | ○                | ○                               |                       |                  | ○                     |                       |                  |                       | ○                | ○                | ◎ |
| II-B-1-33           | 排尿障害(尿失禁・排尿困難)   |                  | ○                | ◎                | ○           | ○      |                  |                  |                  | ○                | ○                     |                  | ○                     | ○                | ○                               | ○                     |                  | ○                     |                       |                  |                       | ○                | ○                | ◎ |
| II-B-1-34           | 尿量異常   |                  | ○                |                  | ○           |        |                  |                  |                  | ○                | ○                     |                  | ○                     | ○                | ○                               |                       |                  | ○                     |                       |                  |                       | ○                | ○                | ◎ |
| II-B-1-35           | 不安・抑うつ   |                  | ○                |                  | ○           |        |                  |                  | ◎                | ○                | ○                     |                  | ○                     | ○                | ○                               | ○                     |                  | ○                     |                       |                  |                       | ○                | ○                |   |
| II-B-2              | 緊急を要する症状・病態 初期治療に参加<br>必修項目 太字の病態を経験すること<br>経験とは、初期治療に参加すること   |                  |                  |                  |             |        |                  |                  |                  |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
| II-B-2-1            | 心肺停止   |                  |                  | ◎                |             |        |                  |                  |                  |                  |                       |                  | ○                     |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
| II-B-2-2            | ショック   |                  |                  | ◎                |             | ○      |                  |                  |                  |                  |                       |                  | ○                     |                  |                                 |                       | ○                | ○                     |                       |                  |                       |                  |                  |   |
| II-B-2-3            | 意識障害   |                  |                  | ◎                |             |        |                  |                  |                  |                  |                       |                  | ○                     |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       | ○                |                  |   |
| II-B-2-4            | 脳血管障害  |                  | ○                | ◎                |             |        |                  |                  |                  |                  |                       |                  |                       | ○                |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       | ○                |                  |   |
| II-B-2-5            | 急性呼吸不全   |                  |                  | ◎                |             |        |                  |                  |                  |                  |                       |                  | ○                     |                  |                                 |                       |                  |                       |                       | ○                |                       |                  |                  |   |
| II-B-2-6            | 急性心不全  |                  |                  | ◎                |             |        |                  |                  |                  |                  |                       |                  | ○                     |                  |                                 |                       |                  |                       |                       | ○                |                       |                  |                  |   |
| II-B-2-7            | 急性冠症候群   |                  |                  | ◎                |             |        |                  |                  |                  |                  |                       |                  | ○                     |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
| II-B-2-8            | 急性腹症   |                  |                  | ◎                |             |        |                  |                  |                  |                  |                       |                  | ○                     |                  |                                 |                       |                  |                       | ○                     |                  |                       |                  |                  |   |
| II-B-2-9            | 急性消化管出血  |                  |                  | ◎                |             |        |                  |                  |                  |                  |                       |                  | ○                     |                  |                                 |                       |                  |                       | ○                     |                  |                       |                  |                  |   |
| II-B-2-10           | 急性腎不全  |                  | ○                | ◎                |             |        |                  |                  |                  |                  |                       | ○                |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
| II-B-2-11           | 流・早産および満期産   |                  | ○                |                  |             |        |                  | ◎                |                  |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
| II-B-2-12           | 急性感染症  |                  | ○                | ◎                |             |        |                  |                  |                  |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       | ○                |                       |                  |                  |   |
| II-B-2-13           | 外傷   |                  |                  | ◎                | ○           | ○      |                  |                  |                  |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       | ○                     |                  |                       | ○                | ○                |   |
| II-B-2-14           | 急性中毒   |                  | ○                | ◎                |             |        |                  |                  | ○                |                  | ○                     |                  | ○                     | ○                |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
| II-B-2-15           | 誤飲、誤嚥  |                  |                  | ◎                |             |        |                  |                  |                  |                  | ○                     |                  | ○                     |                  |                                 |                       |                  |                       |                       | ○                |                       |                  |                  |   |
| II-B-2-16           | 熱傷   |                  |                  | ◎                |             | ○      |                  |                  |                  |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
| II-B-2-17           | 精神科領域の救急   |                  |                  | ○                |             |        |                  |                  | ◎                |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
| II-B-3              | 経験が求められる疾患・病態<br>必修項目 A入院患者を受け持ち、症例レポート提出<br>B外来または入院合併症で自ら経験<br>外科症例(手術を含む)を1例以上受け持ち、診断、検査、術後管理等について症例レポートの提出<br>※全88項目のうち70%以上を経験することが望ましい |                  |                  |                  |             |        |                  |                  |                  |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
| (I) 血液・造血器・リンパ網内系疾患 |  |                  |                  |                  |             |        |                  |                  |                  |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
| II-B-3-1-1          | B 貧血(鉄欠乏貧血、二次性貧血)  |                  | ◎                |                  |             |        |                  |                  |                  |                  |                       |                  | ○                     | ○                | ○                               |                       |                  |                       | ○                     |                  |                       |                  |                  |   |
| II-B-3-1-2          | 白血病  |                  | ◎                |                  |             |        |                  |                  |                  |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
| II-B-3-1-3          | 悪性リンパ腫   |                  | ◎                |                  |             |        |                  |                  |                  |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
| II-B-3-1-4          | 出血傾向・紫斑病(播種性血管内凝固症候群:<br>DIC)  |                  | ◎                |                  | ○           |        |                  |                  |                  |                  |                       |                  | ○                     | ○                | ○                               |                       |                  |                       | ○                     | ○                |                       | ○                | ○                | ○ |

| 研修分野<br>研修単位           | 京都山城総合医療センター                      |    |          |          |             |        |             | 協力<br>病院・施設      | 京都山城総合医療センター |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
|------------------------|-----------------------------------|----|----------|----------|-------------|--------|-------------|------------------|--------------|------------------|-----------------------|------------------|-----------------------|------------------|---------------------------------|-----------------------|------------------|-----------------------|-----------------------|------------------|-----------------------|------------------|------------------|---|
|                        | オリエン<br>テー                        | 必修 | 救急<br>部門 | 病院<br>必修 | 選択必修        |        |             | 選択<br>必修         | 必修           | 選択科目             |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
|                        |                                   | 内科 |          | 整形<br>外科 | 麻<br>酔<br>科 | 外<br>科 | 小<br>児<br>科 | 産<br>婦<br>人<br>科 | 精<br>神<br>科  | 地<br>域<br>医<br>療 | 循<br>環<br>器<br>内<br>科 | 腎<br>臓<br>内<br>科 | 消<br>化<br>器<br>内<br>科 | 神<br>経<br>内<br>科 | 生<br>活<br>習<br>慣<br>病<br>内<br>科 | リ<br>ウ<br>マ<br>チ<br>科 | 放<br>射<br>線<br>科 | 消<br>化<br>器<br>外<br>科 | 呼<br>吸<br>器<br>外<br>科 | 小<br>児<br>外<br>科 | 脳<br>神<br>経<br>外<br>科 | 整<br>形<br>外<br>科 | 泌<br>尿<br>器<br>科 |   |
| <b>(2) 神経系疾患</b>       |                                   |    |          |          |             |        |             |                  |              |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
| II-B-3-2-1             | A 脳・脊髄血管障害(脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血)       |    | ◎        |          |             |        |             |                  |              |                  |                       |                  |                       | ○                |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       | ◎                |                  |   |
| II-B-3-2-2             | 認知症疾患                             |    | ○        |          |             |        |             |                  |              |                  |                       |                  |                       | ◎                |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       | ○                |                  |   |
| II-B-3-2-3             | 脳・脊髄外傷(頭部外傷、急性硬膜外・硬膜下血腫)          |    | ◎        |          |             |        |             |                  |              |                  |                       |                  |                       | ○                |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       | ◎                |                  |   |
| II-B-3-2-4             | 変性疾患(パーキンソン病)                     |    | ◎        |          |             |        |             |                  |              |                  |                       |                  |                       | ◎                |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
| II-B-3-2-5             | 脳炎・髄膜炎                            |    | ◎        |          |             |        |             |                  |              |                  |                       |                  |                       | ◎                |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       | ○                |                  |   |
| <b>(3) 皮膚系疾患</b>       |                                   |    |          |          |             |        |             |                  |              |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
| II-B-3-3-1             | B 湿疹・皮膚炎群(接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎)         |    | ◎        |          |             |        | ○           |                  |              |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
| II-B-3-3-2             | B 蕁麻疹                             |    | ◎        | ○        |             |        | ○           |                  |              |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
| II-B-3-3-3             | B 薬疹                              |    | ◎        | ○        | ○           |        | ○           |                  |              |                  | ○                     | ○                | ○                     | ○                | ○                               | ○                     |                  | ○                     | ○                     | ○                | ○                     | ○                | ○                | ○ |
| II-B-3-3-4             | B 皮膚感染症                           |    | ◎        |          |             |        |             |                  |              |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
| <b>(4) 運動器(筋骨格)系疾患</b> |                                   |    |          |          |             |        |             |                  |              |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
| II-B-3-4-1             | B 骨折                              |    | ◎        | ◎        |             |        |             |                  |              |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  | ◎                     |                  | ◎                |   |
| II-B-3-4-2             | B 関節・靭帯の損傷および障害                   |    | ◎        | ◎        |             |        |             |                  |              |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  | ◎                |   |
| II-B-3-4-3             | B 骨粗鬆症                            |    | ○        | ◎        |             |        |             |                  |              |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       | ○                | ◎                |   |
| II-B-3-4-4             | B 脊柱障害(腰椎椎間板ヘルニア)                 |    | ○        | ◎        |             |        |             |                  |              |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       | ○                | ◎                |   |
| <b>(5) 循環器系疾患</b>      |                                   |    |          |          |             |        |             |                  |              |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
| II-B-3-5-1             | A 心不全                             |    | ◎        | ○        |             |        |             |                  |              |                  | ◎                     |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
| II-B-3-5-2             | B 狭心症、心筋梗塞                        |    | ◎        | ○        |             |        |             |                  |              |                  | ◎                     |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
| II-B-3-5-3             | B 心筋症                             |    | ○        | ○        |             |        |             |                  |              |                  | ◎                     |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
| II-B-3-5-4             | B 不整脈(主要な頻脈性、徐脈性不整脈)              |    | ◎        | ○        |             |        |             |                  |              |                  | ◎                     |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
| II-B-3-5-5             | B 弁膜症(僧帽弁膜症、大動脈弁膜症)               |    | ◎        | ○        |             |        |             |                  |              |                  | ◎                     |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
| II-B-3-5-6             | B 動脈疾患(動脈硬化症、大動脈瘤)                |    | ◎        | ○        |             |        |             |                  |              |                  | ◎                     |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
| II-B-3-5-7             | B 静脈・リンパ管系疾患(深部静脈血栓症、下肢静脈瘤、リンパ浮腫) |    | ◎        | ○        |             | ○      |             |                  |              |                  | ◎                     |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
| II-B-3-5-8             | B 高血圧症(本態性、二次性高血圧症)               |    | ◎        | ○        |             |        |             |                  |              |                  | ◎                     |                  |                       | ○                |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  | ○ |
| <b>(6) 呼吸器系疾患</b>      |                                   |    |          |          |             |        |             |                  |              |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
| II-B-3-6-1             | B 呼吸不全                            |    | ◎        | ○        |             |        |             |                  |              |                  | ○                     |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  | ◎                     |                  |                  |   |
| II-B-3-6-2             | A 呼吸器感染症(急性上気道炎、気管支炎、肺炎)          |    | ◎        | ○        |             |        | ○           |                  |              |                  | ○                     | ○                | ○                     |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  | ○                     |                  |                  |   |
| II-B-3-6-3             | B 閉塞性・拘束性肺疾患(気管支喘息、気管支拡張症)        |    | ◎        | ○        |             |        |             |                  |              |                  | ○                     | ○                | ○                     |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  | ○                     |                  |                  |   |
| II-B-3-6-4             | B 肺循環障害(肺塞栓、肺梗塞)                  |    | ○        | ○        |             |        |             |                  |              |                  | ◎                     |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  | ○                     |                  |                  |   |
| II-B-3-6-5             | B 異常呼吸(過換気症候群)                    |    | ○        | ◎        |             |        | ○           |                  |              |                  | ○                     |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  | ○                     |                  |                  |   |
| II-B-3-6-6             | B 胸膜・縦隔・横隔膜疾患(自然気胸、胸膜炎)           |    | ○        | ○        |             |        |             |                  |              |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  | ◎                     |                  |                  |   |
| II-B-3-6-7             | B 肺癌                              |    | ○        | ○        |             |        |             |                  |              |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  | ◎                     |                  |                  |   |

| 研修分野<br>研修単位                     | 京都市総合医療センター   |      |          |      |    |     |      | 協力<br>病院・施設 | 京都市総合医療センター |       |      |       |      |         |       |      |       |       |      |       |      |      |   |
|----------------------------------|---|------|----------|------|----|-----|------|-------------|-------------|-------|------|-------|------|---------|-------|------|-------|-------|------|-------|------|------|---|
|                                  | オリエンテーション   | 必修   | 病院<br>必修 | 選択必修 |    |     |      | 選択<br>必修    | 必修          | 選択科目  |      |       |      |         |       |      |       |       |      |       |      |      |   |
|                                  | 内科  | 救急部門 | 整形<br>外科 | 麻酔科  | 外科 | 小児科 | 産婦人科 | 精神科         | 地域医療        | 循環器内科 | 腎臓内科 | 消化器内科 | 神経内科 | 生活習慣病内科 | リウマチ科 | 放射線科 | 消化器外科 | 呼吸器外科 | 小児外科 | 脳神経外科 | 整形外科 | 泌尿器科 |   |
| <b>(7) 消化器系疾患</b>                |   |      |          |      |    |     |      |             |             |       |      |       |      |         |       |      |       |       |      |       |      |      |   |
| II-B-3-7-1                       | A 食道・胃・十二指腸疾患(食道静脈瘤、胃癌、消化性潰瘍、胃・十二指腸炎)                           |      | ◎        |      |    | ○   |      |             |             |       |      | ◎     |      |         |       |      | ○     |       | ○    |       |      |      |   |
| II-B-3-7-2                       | B 小腸・大腸疾患(イレウス、急性虫垂炎、痔核、痔瘻)                                     |      | ◎        |      |    | ○   |      |             |             |       |      | ◎     |      |         |       |      | ○     |       | ○    |       |      |      |   |
| II-B-3-7-3                       | 胆嚢・胆管疾患(胆石、胆嚢炎、胆管炎)   |      | ○        |      |    | ○   |      |             |             | ○     | ○    |       |      |         |       |      | ◎     |       |      |       |      |      |   |
| II-B-3-7-4                       | B 肝疾患(ウイルス性肝炎、急性・慢性肝炎、肝硬変、肝癌、アルコール性肝障害、薬物性肝障害)                  |      | ◎        |      |    | ○   |      |             |             |       |      | ◎     |      |         |       |      | ○     |       |      |       |      |      |   |
| II-B-3-7-5                       | 膵臓疾患(急性・慢性膵炎)   |      | ○        |      |    | ○   |      |             |             |       |      | ◎     |      |         |       |      | ○     |       |      |       |      |      |   |
| II-B-3-7-6                       | B 横隔膜・腹壁・腹膜(腹膜炎、急性腹症、ヘルニア)                                      |      | ◎        | ○    |    | ○   |      |             |             |       |      | ○     |      |         |       |      | ◎     |       |      |       |      |      |   |
| <b>(8) 腎・尿路系(体液・電解質バランス含む)疾患</b> |   |      |          |      |    |     |      |             |             |       |      |       |      |         |       |      |       |       |      |       |      |      |   |
| II-B-3-8-1                       | A 腎不全(急性・慢性腎不全、透析)  |      | ◎        | ○    |    | ○   |      |             |             |       | ◎    |       |      |         |       |      |       |       |      |       |      |      | ○ |
| II-B-3-8-2                       | 原発性糸球体疾患(急性・慢性糸球体腎炎症候群、ネフローゼ症候群)                                |      | ◎        |      |    |     |      |             |             | ○     | ◎    |       |      |         |       |      |       |       |      |       |      |      |   |
| II-B-3-8-3                       | 全身性疾患による腎障害(糖尿病性腎症)   |      | ◎        |      |    |     |      |             |             | ○     | ◎    |       |      |         |       |      |       |       |      |       |      |      |   |
| II-B-3-8-4                       | B 泌尿器科的腎・尿路疾患(尿路結石症、尿路感染症)                                      |      | ○        | ○    |    |     |      |             |             | ○     | ○    |       |      |         |       |      |       |       |      |       |      |      | ◎ |
| <b>(9) 妊娠分娩と生殖器疾患</b>            |   |      |          |      |    |     |      |             |             |       |      |       |      |         |       |      |       |       |      |       |      |      |   |
| II-B-3-9-1                       | B 妊娠・分娩(正常妊娠、流産、早産、正常分娩、産科出血、乳腺炎、産褥)                            |      | ○        |      |    | ○   |      | ◎           |             |       |      |       |      |         |       |      |       |       |      |       |      |      |   |
| II-B-3-9-2                       | 女性生殖器及びその関連疾患(月経異常(無月経を含む)、不正性器出血、更年期障害、外陰・膣・骨盤内感染症、骨盤内腫瘍、乳腺腫瘍) |      | ○        |      |    | ○   |      | ◎           |             |       |      |       |      |         |       |      |       |       |      |       |      |      |   |
| II-B-3-9-3                       | B 男性生殖器疾患(前立腺疾患、勃起障害、精巣腫瘍)                                      |      | ○        |      |    |     |      | ○           |             |       |      |       |      |         |       |      |       |       |      |       |      |      | ◎ |
| <b>(10) 内分泌・栄養・代謝系疾患</b>         |   |      |          |      |    |     |      |             |             |       |      |       |      |         |       |      |       |       |      |       |      |      |   |
| II-B-3-10-1                      | 視床下部・下垂体疾患(下垂体機能障害)   |      | ◎        |      |    | ○   |      |             |             |       |      |       | ○    |         |       |      |       |       |      |       |      | ○    |   |
| II-B-3-10-2                      | 甲状腺疾患(甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症)  |      | ◎        |      |    |     |      |             |             | ○     |      |       | ○    |         |       |      |       |       |      |       |      |      |   |
| II-B-3-10-3                      | 副腎不全  |      | ◎        |      |    | ○   |      |             |             | ○     | ○    | ○     |      |         |       |      |       |       |      |       |      | ○    |   |
| II-B-3-10-4                      | A 糖代謝異常(糖尿病、糖尿病の合併症、低血糖)  |      | ◎        | ○    |    | ○   |      |             |             | ○     | ○    | ○     | ◎    |         |       |      |       |       |      |       |      | ○    |   |
| II-B-3-10-5                      | B 高脂血症  |      | ◎        |      |    |     |      |             |             | ○     | ○    | ○     | ◎    |         |       |      |       |       |      |       |      |      |   |
| II-B-3-10-6                      | 蛋白及び核酸代謝異常(高尿酸血症)   |      | ◎        |      |    |     |      |             |             | ○     | ○    | ○     |      |         |       |      |       |       |      |       |      |      |   |
| <b>(11) 眼・視覚系疾患</b>              |   |      |          |      |    |     |      |             |             |       |      |       |      |         |       |      |       |       |      |       |      |      |   |
| II-B-3-11-1                      | B 屈折異常(近視、遠視、乱視)  |      | ○        |      |    |     |      |             |             |       |      |       |      |         |       |      |       |       |      |       |      |      |   |
| II-B-3-11-2                      | B 角結膜炎  |      | ○        |      |    |     |      |             |             |       |      |       |      |         |       |      |       |       |      |       |      |      |   |
| II-B-3-11-3                      | B 白内障   |      | ○        |      |    |     |      |             |             |       |      |       |      |         |       |      |       |       |      |       |      |      |   |
| II-B-3-11-4                      | B 緑内障   |      | ○        |      |    |     |      |             |             |       |      |       |      |         |       |      |       |       |      |       |      |      |   |
| II-B-3-11-5                      | 糖尿病、高血圧・動脈硬化による眼底変化   |      | ○        |      |    |     |      |             |             |       |      |       |      | ◎       |       |      |       |       |      |       |      |      |   |

| 研修分野<br>研修単位       | 京都山城総合医療センター                             |          |          |          |         |    |          | 協力<br>病院・施設 |         | 京都山城総合医療センター |           |          |           |          |                 |           |          |           |           |          |           |          |          |   |
|--------------------|--|----------|----------|----------|---------|----|----------|-------------|---------|--------------|-----------|----------|-----------|----------|-----------------|-----------|----------|-----------|-----------|----------|-----------|----------|----------|---|
|                    | 必修                                       | 病院<br>必修 | 選択必修     |          |         |    | 選択<br>必修 | 必修          | 選択科目    |              |           |          |           |          |                 |           |          |           |           |          |           |          |          |   |
|                    | オリエン<br>テー                               | 内科       | 救急<br>部門 | 整形<br>外科 | 麻酔<br>科 | 外科 | 小児<br>科  | 産婦<br>人科    | 精神<br>科 | 地域<br>医療     | 循環<br>器内科 | 腎臓<br>内科 | 消化<br>器内科 | 神経<br>内科 | 生活<br>習慣病<br>内科 | リウマ<br>チ科 | 放射<br>線科 | 消化<br>器外科 | 呼吸<br>器外科 | 小児<br>外科 | 脳神<br>経外科 | 整形<br>外科 | 泌尿<br>器科 |   |
| (12) 耳鼻・咽喉・口腔系疾患   |  |          |          |          |         |    |          |             |         |              |           |          |           |          |                 |           |          |           |           |          |           |          |          |   |
| II-B-3-12-1        | B 中耳炎                                    |          | ○        |          |         |    | ◎        |             |         |              |           |          |           |          |                 |           |          |           |           |          |           |          |          |   |
| II-B-3-12-2        | 急性・慢性副鼻腔炎                                |          | ◎        |          |         |    | ○        |             |         |              |           |          |           |          |                 |           |          |           |           |          |           |          |          |   |
| II-B-3-12-3        | B アレルギー性鼻炎                               |          | ◎        |          |         |    | ○        |             |         |              |           |          |           |          |                 |           |          |           |           |          |           |          |          |   |
| II-B-3-12-4        | 扁桃の急性・慢性炎症性疾患                            |          | ◎        |          |         |    | ○        |             |         |              |           |          |           |          |                 |           |          |           |           |          |           |          |          |   |
| II-B-3-12-5        | 外耳道・鼻腔・咽頭・食道の代表的な異物                      |          | ○        |          |         |    | ○        |             |         |              |           |          | ◎         |          |                 |           |          |           |           |          |           |          |          |   |
| (13) 精神・神経系疾患      |  |          |          |          |         |    |          |             |         |              |           |          |           |          |                 |           |          |           |           |          |           |          |          |   |
| II-B-3-13-1        | 症状精神病                                    |          | ○        |          |         |    |          |             | ◎       |              |           |          |           |          |                 |           |          |           |           |          |           |          |          |   |
| II-B-3-13-2        | A 認知症(血管性認知症を含む)                         |          | ○        |          |         |    |          |             | ◎       |              |           |          |           | ○        |                 |           |          |           |           |          |           |          |          |   |
| II-B-3-13-3        | アルコール依存症                                 |          | ○        |          |         |    |          |             | ◎       |              |           |          | ○         |          |                 |           |          |           |           |          |           |          |          |   |
| II-B-3-13-4        | A 気分不良(うつ病、躁うつ病を含む)                      |          | ○        |          |         |    |          |             | ◎       |              |           |          |           |          |                 |           |          |           |           |          |           |          |          |   |
| II-B-3-13-5        | A 統合失調症(精神分裂病)                           |          | ○        |          |         |    |          |             | ◎       |              |           |          |           |          |                 |           |          |           |           |          |           |          |          |   |
| II-B-3-13-6        | 不安障害(パニック症候群)                            |          | ○        |          |         |    |          |             | ◎       |              | ○         |          |           |          |                 |           |          |           |           |          |           |          |          |   |
| II-B-3-13-7        | B 身体表現性障害、ストレス関連障害                       |          | ○        |          |         |    |          |             | ◎       |              |           |          |           |          |                 |           |          |           |           |          |           |          |          |   |
| (14) 感染症           |  |          |          |          |         |    |          |             |         |              |           |          |           |          |                 |           |          |           |           |          |           |          |          |   |
| II-B-3-14-1        | ウイルス感染症(インフルエンザ、麻疹、風疹、水痘、ヘルペス、流行性耳下腺炎)   |          | ◎        | ○        |         |    | ○        |             |         |              | ○         |          |           | ○        |                 |           |          |           |           |          |           |          |          |   |
| II-B-3-14-2        | 細菌性感染症(ブドウ球菌、MRSA、A群レンサ球菌、クラミジア)         |          | ◎        |          |         |    | ○        |             |         |              | ○         |          | ○         | ○        |                 |           |          |           |           |          |           |          |          | ○ |
| II-B-3-14-3        | B 結核                                     |          | ◎        | ○        |         |    | ○        |             |         |              |           |          |           |          |                 |           |          |           |           |          |           |          |          |   |
| II-B-3-14-4        | 真菌感染症(カンジダ症)                             |          | ◎        |          |         |    | ○        |             |         |              |           |          |           |          |                 |           |          |           |           |          |           |          |          |   |
| II-B-3-14-5        | 性感染症                                     |          | ○        |          |         |    |          | ◎           |         |              |           |          |           |          |                 |           |          |           |           |          |           |          |          | ◎ |
| II-B-3-14-6        | 寄生虫疾患                                    |          | ◎        | ○        |         |    | ○        |             |         |              |           |          | ○         |          |                 |           |          |           |           |          |           |          |          |   |
| (15) 免疫・アレルギー性疾患   |  |          |          |          |         |    |          |             |         |              |           |          |           |          |                 |           |          |           |           |          |           |          |          |   |
| II-B-3-15-1        | 全身性エリテマトーデスとその合併症                        |          | ◎        |          |         |    |          |             |         |              |           |          |           |          |                 |           |          |           |           |          |           |          |          |   |
| II-B-3-15-2        | B 関節リウマチ                                 |          | ○        |          | ○       |    |          |             |         |              |           |          |           |          |                 |           | ◎        |           |           |          |           |          |          | ○ |
| II-B-3-15-3        | B アレルギー疾患                                |          | ○        | ○        |         |    | ○        |             |         |              |           |          |           |          |                 |           |          |           |           |          |           |          |          |   |
| (16) 物理・化学的因子による疾患 |  |          |          |          |         |    |          |             |         |              |           |          |           |          |                 |           |          |           |           |          |           |          |          |   |
| II-B-3-16-1        | 中毒(アルコール、薬物)                             |          | ○        | ◎        |         |    |          |             |         |              |           |          |           |          |                 |           |          |           |           |          |           |          |          |   |
| II-B-3-16-2        | アナフィラキシー                                 |          | ○        | ◎        |         |    |          |             |         |              | ○         |          |           |          |                 |           |          |           |           |          |           |          |          |   |
| II-B-3-16-3        | 環境要因による疾患(熱中症、寒冷による障害)                   |          | ○        | ◎        |         |    |          |             |         |              | ○         |          |           |          |                 |           |          |           |           |          |           |          |          |   |
| II-B-3-16-4        | B 熱傷                                     |          |          | ◎        |         |    | ○        |             |         |              |           |          |           |          |                 |           |          |           |           |          |           |          |          |   |
| (17) 小児疾患          |  |          |          |          |         |    |          |             |         |              |           |          |           |          |                 |           |          |           |           |          |           |          |          |   |
| II-B-3-17-1        | B 小児痙攣性疾患                                |          |          | ○        |         |    | ◎        |             |         |              |           |          |           | ○        |                 |           |          |           |           |          |           |          |          | ○ |
| II-B-3-17-2        | B 小児ウイルス感染症(麻疹、流行性耳下腺炎、水痘、突発性発疹、インフルエンザ) |          | ○        |          |         |    | ◎        |             |         |              |           |          |           |          |                 |           |          |           |           |          |           |          |          |   |
| II-B-3-17-3        | 小児細菌感染症                                  |          | ○        |          |         |    | ◎        |             |         |              |           |          |           |          |                 |           |          |           |           |          |           |          |          |   |
| II-B-3-17-4        | B 小児喘息                                   |          | ○        |          |         |    | ◎        |             |         |              |           |          |           |          |                 |           |          |           |           |          |           |          |          |   |
| II-B-3-17-5        | 先天性心疾患                                   |          |          |          |         |    | ◎        |             |         |              | ○         |          |           |          |                 |           |          |           |           |          |           |          |          |   |

| 研修分野<br>研修単位 | 京都山城総合医療センター  |          |          |          |         |    |          | 協力<br>病院・施設 | 京都山城総合医療センター |          |               |          |               |          |                     |               |          |               |               |          |               |          |          |
|--------------|---|----------|----------|----------|---------|----|----------|-------------|--------------|----------|---------------|----------|---------------|----------|---------------------|---------------|----------|---------------|---------------|----------|---------------|----------|----------|
|              | 必修  | 病院<br>必修 | 選択必修     |          |         |    | 選択<br>必修 | 必修          | 選択科目         |          |               |          |               |          |                     |               |          |               |               |          |               |          |          |
|              | オリエン<br>ション   | 内科       | 救急<br>部門 | 整形<br>外科 | 麻酔<br>科 | 外科 | 小児<br>科  | 産婦<br>人科    | 精神<br>科      | 地域<br>医療 | 循環<br>器内<br>科 | 腎臓<br>内科 | 消化<br>器内<br>科 | 神経<br>内科 | 生活<br>習慣<br>病内<br>科 | リウ<br>マチ<br>科 | 放射<br>線科 | 消化<br>器外<br>科 | 呼吸<br>器外<br>科 | 小児<br>外科 | 脳神<br>経外<br>科 | 整形<br>外科 | 泌尿<br>器科 |
| (18) 加齢と老化   |   |          |          |          |         |    |          |             |              |          |               |          |               |          |                     |               |          |               |               |          |               |          |          |
| II-B-3-18-1  | B 高齢者の栄養摂取障害  |          |          |          |         |    |          |             |              |          |               |          |               |          |                     |               |          |               |               |          |               |          |          |
| II-B-3-18-2  | B 老年症候群(誤嚥、転倒、失禁、褥瘡)  |          |          |          |         |    |          |             |              |          |               |          |               |          |                     |               |          |               |               |          |               |          |          |
| II-C         | 特定の医療現場の経験<br>必修項目にある現場とは、各現場における到達目標の項目のうち一つ以上経験すること   |          |          |          |         |    |          |             |              |          |               |          |               |          |                     |               |          |               |               |          |               |          |          |
| II-C-1       | 救急医療<br>必修項目 救急医療の現場を経験すること   |          |          |          |         |    |          |             |              |          |               |          |               |          |                     |               |          |               |               |          |               |          |          |
|              | 1) バイタルサインの把握ができる   |          |          |          |         |    |          |             |              |          |               |          |               |          |                     |               |          |               |               |          |               |          |          |
|              | 2) 重症度、緊急度の把握ができる   |          |          |          |         |    |          |             |              |          |               |          |               |          |                     |               |          |               |               |          |               |          |          |
|              | 3) ショックの診断と治療ができる   |          |          |          |         |    |          |             |              |          |               |          |               |          |                     |               |          |               |               |          |               |          |          |
|              | 4) 二次救命処置(ACLS、呼吸・循環管理を含む)ができ、一次救命処置(BLS)を指導できる※<br>ACLSは、バッグ・バルブ・マスク等を使う心肺蘇生法や除細動、気管挿管、薬剤投与等の一定のガイドラインに基づく救命処置を含み、BLSには気道確保、心臓マッサージ、人工呼吸等機器を使用しない処置が含まれる |          |          |          |         |    |          |             |              |          |               |          |               |          |                     |               |          |               |               |          |               |          |          |
|              | 5) 高頻度救急疾患の初期治療ができる   |          |          |          |         |    |          |             |              |          |               |          |               |          |                     |               |          |               |               |          |               |          |          |
|              | 6) 専門医への適切なコンサルテーションができる  |          |          |          |         |    |          |             |              |          |               |          |               |          |                     |               |          |               |               |          |               |          |          |
|              | 7) 大災害時の救急医療体制を理解し、自己の役割を把握できる  |          |          |          |         |    |          |             |              |          |               |          |               |          |                     |               |          |               |               |          |               |          |          |
| II-C-2       | 予防医療<br>必修項目 予防医療の現場を経験すること   |          |          |          |         |    |          |             |              |          |               |          |               |          |                     |               |          |               |               |          |               |          |          |
|              | 1) 食事・運動・休養・飲酒・禁煙指導とストレスマネジメントができる  |          |          |          |         |    |          |             |              |          |               |          |               |          |                     |               |          |               |               |          |               |          |          |
|              | 2) 性感染症予防・家族計画を指導できる  |          |          |          |         |    |          |             |              |          |               |          |               |          |                     |               |          |               |               |          |               |          |          |
|              | 3) 地域・産業・学校保健事業に参画できる   |          |          |          |         |    |          |             |              |          |               |          |               |          |                     |               |          |               |               |          |               |          |          |
|              | 4) 予防接種を実施できる   |          |          |          |         |    |          |             |              |          |               |          |               |          |                     |               |          |               |               |          |               |          |          |
| II-C-3       | 地域医療<br>必修項目 へき地・離島診療所、中小病院・診療所等の地域医療の現場を経験すること   |          |          |          |         |    |          |             |              |          |               |          |               |          |                     |               |          |               |               |          |               |          |          |
|              | 1) 日常生活や共住する地域の特性に即した医療(在宅医療を含む)について理解し実践する   |          |          |          |         |    |          |             |              |          |               |          |               |          |                     |               |          |               |               |          |               |          |          |
|              | 2) 診療所の役割(病診連携への理解を含む)について理解し実践する   |          |          |          |         |    |          |             |              |          |               |          |               |          |                     |               |          |               |               |          |               |          |          |
|              | 3) へき地・離島医療について理解し実践する  |          |          |          |         |    |          |             |              |          |               |          |               |          |                     |               |          |               |               |          |               |          |          |
| II-C-4       | 周産・小児・成育医療<br>必修項目 周産・小児・成育医療の現場を経験すること   |          |          |          |         |    |          |             |              |          |               |          |               |          |                     |               |          |               |               |          |               |          |          |
|              | 1) 周産期や小児の各発達段階に応じて適切な医療が提供できる  |          |          |          |         |    |          |             |              |          |               |          |               |          |                     |               |          |               |               |          |               |          |          |
|              | 2) 周産期や小児の各発達段階に応じて心理社会的側面への配慮ができる  |          |          |          |         |    |          |             |              |          |               |          |               |          |                     |               |          |               |               |          |               |          |          |
|              | 3) 虐待について説明できる  |          |          |          |         |    |          |             |              |          |               |          |               |          |                     |               |          |               |               |          |               |          |          |
|              | 4) 学校、家庭、職場環境に配慮し、地域との連携に参画できる  |          |          |          |         |    |          |             |              |          |               |          |               |          |                     |               |          |               |               |          |               |          |          |
|              | 5) 母子健康手帳を理解し活用できる  |          |          |          |         |    |          |             |              |          |               |          |               |          |                     |               |          |               |               |          |               |          |          |

| 研修分野<br>研修単位 | 京都山城総合医療センター   |          |          |             |        |             |                  | 協力<br>病院・施設 | 京都山城総合医療センター     |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
|--------------|--|----------|----------|-------------|--------|-------------|------------------|-------------|------------------|-----------------------|------------------|-----------------------|------------------|---------------------------------|-----------------------|------------------|-----------------------|-----------------------|------------------|-----------------------|------------------|------------------|---|
|              | オリエン<br>テー   | 必修       | 病院<br>必修 | 選択必修        |        |             |                  | 選択<br>必修    | 必修               | 選択科目                  |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
|              | 内科   | 救急<br>部門 | 整形<br>外科 | 麻<br>酔<br>科 | 外<br>科 | 小<br>児<br>科 | 産<br>婦<br>人<br>科 | 精<br>神<br>科 | 地<br>域<br>医<br>療 | 循<br>環<br>器<br>内<br>科 | 腎<br>臓<br>内<br>科 | 消<br>化<br>器<br>内<br>科 | 神<br>経<br>内<br>科 | 生<br>活<br>習<br>慣<br>病<br>内<br>科 | リ<br>ウ<br>マ<br>チ<br>科 | 放<br>射<br>線<br>科 | 消<br>化<br>器<br>外<br>科 | 呼<br>吸<br>器<br>外<br>科 | 小<br>児<br>外<br>科 | 脳<br>神<br>経<br>外<br>科 | 整<br>形<br>外<br>科 | 泌<br>尿<br>器<br>科 |   |
| II-C-5       | 精神保健・医療<br>必修項目 精神福祉センター、精神科病院等の精神保健・医療の現場を経験すること                                  |          |          |             |        |             |                  |             |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
|              | 1) 精神症状の捉え方の基本を身につける   |          |          |             |        |             |                  | ◎           | ○                |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
|              | 2) 精神疾患に対する初期対応と治療の実際を学ぶ   |          |          |             |        |             |                  | ◎           | ○                |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
|              | 3) デイケアなどの社会復帰や地域支援体制を理解する   |          |          |             |        |             |                  | ◎           | ○                |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
| II-C-6       | 緩和ケア・終末期医療<br>必修項目 臨終の立ち会いを経験すること  |          |          |             |        |             |                  |             |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
|              | 1) 心理社会的側面への配慮ができる   |          | ◎        | ○           | ○      |             | ○                |             | ○                | ◎                     | ○                | ○                     | ○                | ○                               | ○                     | ○                | ○                     | ○                     | ○                | ○                     | ○                | ○                | ○ |
|              | 2) 治療の初期段階から基本的な緩和ケアができる   |          | ○        | ○           | ○      |             | ○                |             | ○                | ○                     | ○                | ○                     | ○                |                                 |                       | ○                | ◎                     | ○                     |                  | ○                     | ○                | ○                | ○ |
|              | 3) 告知をめぐる諸問題への配慮ができる   |          | ○        | ○           | ○      |             | ○                |             | ○                | ○                     |                  | ○                     | ○                |                                 |                       | ○                | ◎                     | ○                     |                  | ○                     | ○                | ○                | ○ |
|              | 4) 死生観・宗教観などへの配慮ができる   |          | ○        | ○           | ○      |             | ○                |             | ○                | ○                     |                  | ○                     | ○                |                                 |                       | ○                | ○                     | ○                     |                  | ○                     | ○                | ○                | ○ |
| II-C-7       | 地域保健を必要とする患者とその家族に、全人的に対応するために、保健所、介護老人施設、社会福祉視閲、赤十字社血液センター、各種 検診の実施施設等の地域保健の現場の経験 |          |          |             |        |             |                  |             |                  |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
|              | 1) 保健所(地域保健・健康増進への理解を含む)について理解し、実践する   |          | ○        |             |        |             |                  |             | ◎                |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |
|              | 2) 社会福祉施設等の役割について理解し、実践する  |          | ○        |             |        |             |                  |             | ◎                |                       |                  |                       |                  |                                 |                       |                  |                       |                       |                  |                       |                  |                  |   |

## 研修医が単独で行なってよい処置・処方基準について

診療行為のうち、研修医が、指導医、上級委の同席なしに単独で行なってよい処置と処方内容の基準を示す。処置等は指導医、上級医の指導のもと十分に手技を習熟してから単独で行うこと。

実際の運用に当たっては、研修医の能力や、各診療科・診療部門の実状をふまえて、個々に検討する必要がある。研修医が単独で行ってよいと下記に記載されているものであっても、単独での施行が困難な場合は無理をせずに上級医・指導医とともに行う必要がある。

### 【診察】

| 研修医が単独で行なってよいこと                                | 研修医が単独で行なってはいけないこと |
|--|--------------------|
| 全身の視診、打診、触診                                    | 内診                 |
| 簡単な器具（聴診器、打腱器、血圧計などを用いる全身の診察）                  |                    |
| 直腸診  |                    |
| 耳鏡、鼻鏡、検眼鏡による診察<br>診察に際しては、組織を損傷しないように十分に注意すること |                    |

### 【検査】

| 生理学的検査                             |                    |
|------------------------------------|--------------------|
| 研修医が単独で行なってよいこと                    | 研修医が単独で行なってはいけないこと |
| 心電図                                | 脳波                 |
| 聴力、平衡、味覚、嗅覚、知覚                     | 呼吸機能（肺活量など）        |
| 視野、視力                              | 筋電図、神経伝達速度         |
| 眼球に直接触れる検査<br>眼球を損傷しないように注意する必要がある |                    |

| 内視鏡検査など         |                    |
|-----------------|--------------------|
| 研修医が単独で行なってよいこと | 研修医が単独で行なってはいけないこと |
| 喉頭鏡             | 直腸鏡                |
|                 | 肛門鏡                |
|                 | 食道鏡                |
|                 | 胃内視鏡               |

|  |                           |
|--|---------------------------|
|  | 大腸内視鏡                     |
|  | 気管支鏡                      |
|  | 膀胱鏡                       |
| <b>画像検査</b>                                    |                           |
| <b>研修医が単独で行なってよいこと</b>                         | <b>研修医が単独で行なってはいけないこと</b> |
| 超音波<br>誤診に繋がる恐れがあるため、検査結果の解釈・判断は指導医・上級医に確認すること | 単純X線検査                    |
|  | CT                        |
|  | MRI                       |
|  | 血管造影                      |
|  | 核医学検査                     |
|  | 消化管造影                     |
|  | 気管支造影                     |
|  | 脊髄造影                      |

|   |                           |
|---|---------------------------|
| <b>血管穿刺と採血</b>  |                           |
| <b>研修医が単独で行なってよいこと</b>  | <b>研修医が単独で行なってはいけないこと</b> |
| 末梢静脈穿刺と静脈ライン留置<br>血管穿刺の際に神経を損傷した事例もあるので、確実に血管を穿刺する必要がある<br>困難な場合は無理をせずに指導医に任せる                    | 中心静脈穿刺（鎖骨下、内頸、大腿）         |
|   | 動脈ライン留置                   |
|   | 小児の採血                     |
|   | 指導医の許可を得た場合はこの限りではない      |
|   | 年長の小児はこの限りではない            |
| 動脈穿刺<br>肘窩部では上腕動脈は正中神経に伴走しており、神経損傷には十分に注意すること<br>動脈ラインの留置は、研修医単独で行なってはならない<br>困難な場合は無理をせずに指導医に任せる | 小児の動脈穿刺                   |
|   | 年長の小児はこの限りではない            |
|   |                           |
|   |                           |

|                        |                           |
|------------------------|---------------------------|
| <b>穿刺</b>              |                           |
| <b>研修医が単独で行なってよいこと</b> | <b>研修医が単独で行なってはいけないこと</b> |
| 皮下の嚢胞                  | 関節                        |
| 皮下の膿瘍                  | 深部の膿瘍、嚢胞                  |
|                        | 胸腔                        |
|                        | 腹腔                        |
|                        | 膀胱                        |

|  |          |
|--|----------|
|  | 腰部硬膜外穿刺  |
|  | 腰部くも膜下穿刺 |
|  | 針生検      |

| 産婦人科            |                    |
|-----------------|--------------------|
| 研修医が単独で行なってよいこと | 研修医が単独で行なってはいけないこと |
|                 | 腔内容採取              |
|                 | コルポスコピー            |
|                 | 子宮内操作              |

| その他             |                    |
|-----------------|--------------------|
| 研修医が単独で行なってよいこと | 研修医が単独で行なってはいけないこと |
| アレルギー検査（貼付）     | 発達テストの解釈           |
| 長谷川式痴呆テスト       | 知能テストの解釈           |
| MMSE            | 心理テストの解釈           |

#### 【治療】

| 処置   |                                       |
|--|---------------------------------------|
| 研修医が単独で行なってよいこと                              | 研修医が単独で行なってはいけないこと                    |
| 皮膚消毒、包帯交換                                    | ギプス巻き                                 |
| 創傷処置   | ギプスカット                                |
| 外用薬貼付・塗布                                     | 胃管挿入（経管栄養目的のもの）                       |
| 気道内吸引、ネブライザー                                 | 反射が低下している患者や意識の無い患者では、胃管の位置をX線などで確認する |
| 導尿   |                                       |
| 前立腺肥大などのためにカテーテルの挿入が困難な時は無理をせずに上級医・指導医に任せること |                                       |
| 新生児や未熟児では、研修医が単独で行なってはならない                   |                                       |
| 浣腸   |                                       |
| 新生児や未熟児では、研修医が単独で行なってはならない                   |                                       |
| 潰瘍性大腸炎や老人、その他、困難な場合は無理を                      |                                       |

|   |  |
|---|--|
| せずに指導医に任せること                            |  |
| 胃管挿入（経管栄養目的以外のもの）                       |  |
| 反射が低下している患者や意識の無い患者では、胃管の位置を X 線などで確認する |  |
| 新生児や未熟児では、研修医が単独で行なってはならない              |  |
| 困難な場合は無理をせずに指導医に任せる                     |  |
| 気管カニューレ交換                               |  |
| 研修医が単独で行なってよいのはとくに習熟している場合である           |  |
| 技量にわずかでも不安がある場合は、上級医師の同席が必要             |  |

| <b>注射</b>                         |  |
|-----------------------------------|--|
| 研修医が単独で行なってよいこと                   | 研修医が単独で行なってはいけないこと                     |
| 皮内                                | 中心静脈（穿刺を伴う場合）                          |
| 皮下                                | 動脈（穿刺を伴う場合）                            |
| 筋肉                                | 目的が採血ではなく、薬剤注入の場合は、研修医が単独で動脈穿刺をしてはならない |
| 末梢静脈                              |  |
| 輸血                                | 関節内                                    |
| 輸血によりアレルギー歴が疑われる場合には無理をせずに指導医に任せる |  |

| <b>麻酔</b>                   |                    |
|-----------------------------|--------------------|
| 研修医が単独で行なってよいこと             | 研修医が単独で行なってはいけないこと |
| 局所浸潤麻酔                      | 脊髄麻酔               |
| 局所麻酔薬のアレルギーの既往を問診し、カルテに記載する | 硬膜外麻酔（穿刺を伴う場合）     |

| <b>外科的処置</b>         |                    |
|----------------------|--------------------|
| 研修医が単独で行なってよいこと      | 研修医が単独で行なってはいけないこと |
| 抜糸                   | 深部の止血              |
| ドレーン抜去               | 応急処置を行うのは差支えない     |
| 時期、方法については指導医と協議すること | 深部の膿瘍切開・排膿         |

|            |  |
|------------|--|
| 皮下の止血      |  |
| 皮下の膿瘍切開・排膿 |  |
| 皮膚の縫合      |  |

| 処方                                      |   |
|---|---|
| 研修医が単独で行なってもよいこと                        | 研修医が単独で行なってはいけないこと  |
| 一般の内服薬<br>処方箋の作成前に、処方内容について指導医・上級医と協議する | 内服薬（抗精神薬）（抗悪性腫瘍剤）<br>内服薬（麻薬）<br>法律により、麻薬施用者免許を受けている医師以外は、麻薬を処方してはならない |
| 注射処方（一般）<br>処方箋の作成前に、処方内容について指導医と協議する   | 注射薬（抗精神薬）（抗悪性腫瘍剤）<br>注射薬（麻薬）<br>法律により、麻薬施用者免許を受けている医師以外は、麻薬を処方してはならない |
| 理学療法<br>処方箋の作成前に、処方内容について指導医と協議する       |   |

【その他】

| 研修医が単独で行なってもよいこと   | 研修医が単独で行なってはいけないこと  |
|--|---|
| インスリン自己注射指導<br>インスリンの種類、投与量、投与時刻はあらかじめ指導医のチェックを受ける                               | 病状説明<br>正式な場での病状説明は研修医単独で行なってはならないが、ベッドサイドでの病状に対する簡単な質問への応答は、単独で行なっても差し支えない |
| 血糖値自己測定指導  | 病理解剖  |
| 診断書・証明書作成<br>診断書・証明書の作成後、内容について指導医のチェックを受ける。連名は不要。                               | 病理診断報告  |
| 検査、処置、手術、輸血等の承諾書<br>既成の承諾書、説明書があり、上級医の事前の許可があれば単独でも可能。事後に、上級医の署名をもらい、連名で承諾書を作成する | 検査、処置、手術、輸血等の承諾書<br>説明は上級医と同席で行い、連名で作成する                                    |

## 京都山城総合医療センター臨床研修管理委員会規程

平成28年11月14日

組合規程第9号

(趣旨)

第1条 この規程は、京都山城総合医療センター（以下「病院」という。）における医師の臨床研修に関し、具体的な検討を行い、臨床研修を円滑かつ適切な体制整備を図るために設置する京都山城総合医療センター臨床研修管理委員会（以下「委員会」という。）について、必要な事項を定める。

(研修医)

第2条 この規程において、「研修医」とは、医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修を目的として受け入れた医師免許を有する者をいう。

(協力病院)

第3条 この規程において、「協力病院」とは、病院と協力して研修医の臨床研修の一部を行う臨床研修協力病院及び臨床研修協力施設をいう。

(審議事項)

第4条 委員会は、研修医に関する次に掲げる事項を審議する。

- (1) 研修プログラムの作成方針に関すること。
- (2) 募集に関すること。
- (3) 採用時における臨床研修希望者の評価に関すること。
- (4) 処遇に関すること。
- (5) 健康管理に関すること。
- (6) 臨床研修目標の到達状況の評価に関すること。
- (7) 臨床研修修了時及び中断時の評価に関すること。
- (8) 協力病院への可否に関すること。
- (9) その他臨床研修に関すること。

(組織構成)

第5条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) 病院の管理者又はこれに準ずる者
- (2) 病院の事務部門の責任者又はこれに準ずる者
- (3) 臨床研修管理委員会が管理するすべての研修プログラムのプログラム責任者
- (4) 病院に係る臨床研修病院群を構成するすべての関係施設の研修実施責任者（当該施設における臨床研修の実施を管理する者をいう。）
- (5) 医師その他の医療関係者（前各号に掲げる者並びに病院、病院と共同して臨床研修を行う協力型臨床研修病院及び研修協力施設に所属する者を除く。）
- (6) その他、委員長が必要と認めた者

(委員長及び副委員長)

第6条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、院長をもって充て、副委員長は、あらかじめ委員長が指名する。
- 3 委員長は、会務を統括し、会議の議長となる。
- 4 副委員長は、委員長の補佐及び不在時の代理を務める。

(委員以外の出席)

第7条 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、その意見又は説明を求めることができる。

(開催回数等)

第8条 委員会は、原則として年1回以上開催し、必要事項について審議する。

- 2 委員長は必要に応じて、委員を招集し、随時開催することができる。
- 3 委員会は、構成員の2/3以上の出席があれば、開催できるものとする。

(その他)

第8条 この規程に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附則

この規程は、平成28年11月18日から施行する。